


ビクターフラットワイドテレビ

型名 **AV-32AD2**
AV-28A2

 ご使用前に**安全上のご注意**
(2~7ページ)を必ずお読みください。

目次は8ページです

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

テレビを使い
こなす

アンテナの
接続と設定

AV機器を
つなぐ

こまったときは

DVD Player
Digital BS-Tuner
S-VHS



Game

CS-Tuner

VICTOR FLAT VISION

The PANORAMA

NATURAL-PROGRESSIVE

このたびはビクター製品をお買い上げ
いただき、ありがとうございます

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一
緒に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。

絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示(文字を含む)は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示(文字を含む)は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



指をはさまれないように注意



感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



プラグをコンセントから抜く



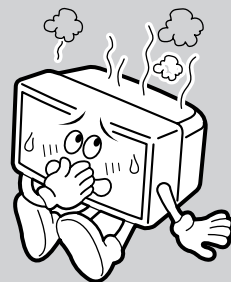
警告

万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
- テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

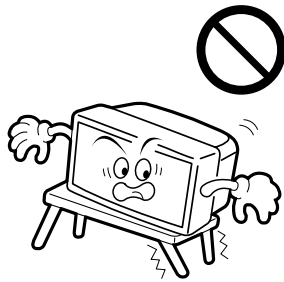
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠ 警告 設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧 (交流100V) 以外で使用しない

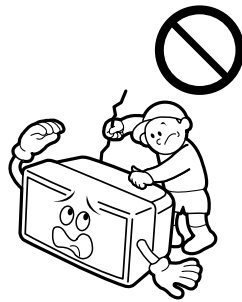
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告 使用するときの警告

テレビ内部に物を入れない

金属や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

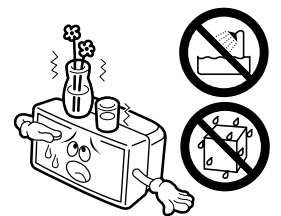


テレビに水をかけない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器 (花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など) は、こぼれたりしますので、テレビの上に置かないでください。

また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。



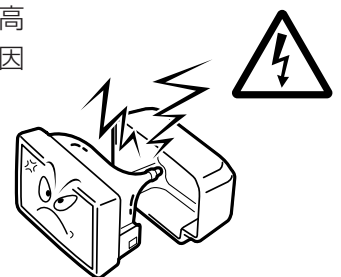
テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



安全上のご注意 (つづき)

警告 使用するときの警告

雷が鳴り出したら、アンテナ線
や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



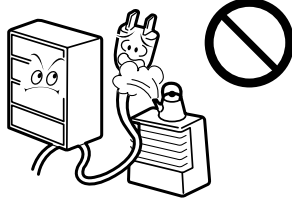
テレビを改造しない

火災・感電の原因となり
ます。

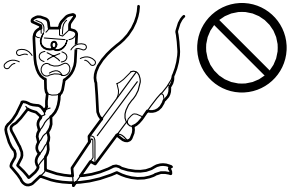


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いもの
のをせたり、電源コード
を加工したり・無理に曲げ
たり・ねじったり・引っ張っ
たり、電源コードを熱器具
に近づけたりしないでくだ
さい。火災・感電の原因と
なります。



電源コードが切れたり、
芯線が出たりしたときは、
販売店に電源コードの交
換を依頼してください。
そのまま使用すると火災・
感電の原因となります。

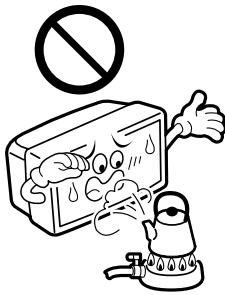


注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

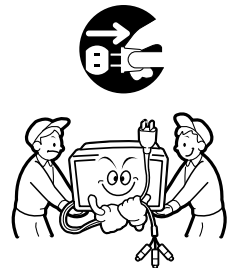
火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。



移動するときは 接続コード類をはずす

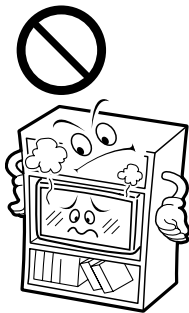
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。



テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・ 壁や家具などから10cm以上離す
- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・ じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・ テーブルクロスなどを掛けない
- ・ あお向け、横倒し、逆さまにしない



キャスター付きテレビ台に 乗せるときは、キャスターを固定する

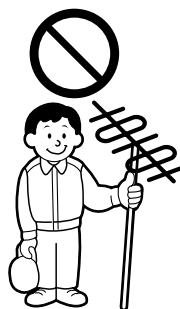
キャスター止め(受け皿など)で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。



アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ・ 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- ・ BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けよう依頼してください。

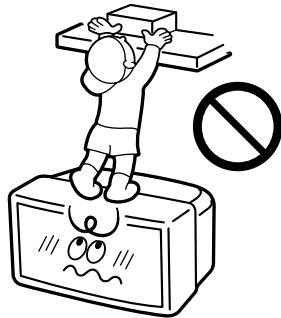


安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意 使用するときの注意

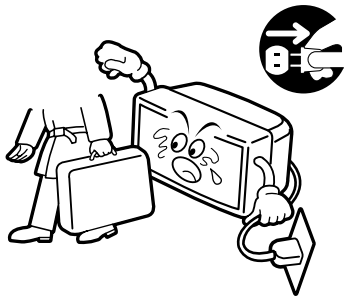
テレビに乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



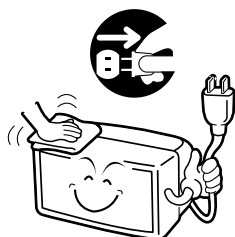
長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



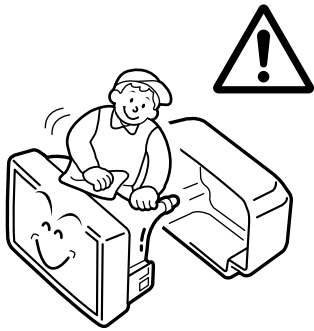
電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。



5年に一度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

テレビの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



乾電池の使い方に注意する

電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

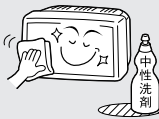
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない



お手入れのしかた

●キャビネットやブラウン管面の汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・シンナーやベンジンでふかない
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない



転倒防止の処置をしてください

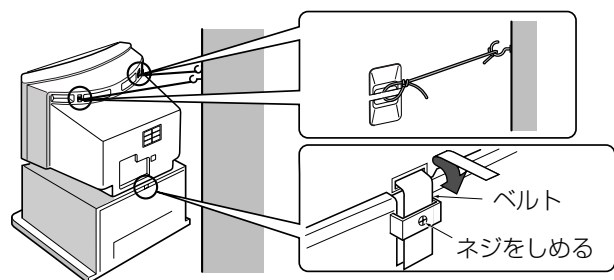
地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき

転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

目次

安全上のご注意

安全上のご注意 2

テレビを見る前に

テレビを見る前の準備 10
知っておいていただきたいこと 11
各部のなまえ 12

ふだんの使いかた

テレビを見る 18

便利な機能で楽しむ

メニューボタンの使いかた 20
画面サイズの種類 22
画面サイズを変えるには 23
画面の位置を調節する 24
オートパノラマの画面サイズを設定する 24
2画面にする 25
番組一覧を表示する 26
メモ機能を使う(静止画) 27
見たいところを拡大する 28
BS放送を録画しながらテレビを見る(AV-32AD2のみ) ... 29
フィルム撮影された映画などをキレイに見る 29
お好みの映像に調節する 30
 お好みの画質を選ぶ 30
 映像を調節する 31
音声を調節する 32
音声を切り換える 33

テレビを使いこなす

おはようタイマーを設定する 34
おトク設定 35
 3つの節電機能をすべて使うには 35
 3つの節電機能から選んで使うには 36
テレビの消し忘れを防止する 37
デジタルE.E.の効果表示をするには 37
シアタープロの設定 38
本来の解像度で表示する 40
画面の傾きを調節 40
地磁気補正 41
自己紹介機能を使うには 41

アンテナの接続と設定

VHF/UHFアンテナをつなぐ	42
コネクタのつなぎかた	43
チャンネルを合わせる	
チャンネル設定の手順	44
地域の放送局を一括して設定する	44
放送局を個別に設定する	46
CATVチャンネルを直接選ぶ	48
CATVチャンネルを設定する	49
BSアンテナをつなぐ(AV-32AD2のみ)	51
BSアンテナを接続するとき	51
BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき	51
BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし) も一緒に接続するとき	52
BSの設定をする(AV-32AD2のみ)	
BSアンテナに電源を供給する	53
BSアンテナの向きを調節する	54
BSチャンネルの設定を変更する	55
時計を設定する	57

AV機器をつなぐ

AV機器を接続する	
ビデオムービー/テレビゲームを接続する	58
接続できる機器	58
ビデオデッキを接続する	59
BSデコーダーを接続する(AV-32AD2のみ)	60
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する	61
BSデジタルチューナーを接続する	62
DVDプレーヤーを接続する	63
D-VHSを接続する	64
アンプ(オーディオシステム)を接続する	65

こまったときは

故障かな?と思う前に(症状とその原因と対処方法)	66
こんなメッセージが表示されたら	70
保証書とアフターサービス	72
索引	74
用語解説	75
主な仕様	裏表紙

放送の種類

地上波放送

従来よりのVHF/UHFの放送です。

BSアナログ放送

アナログ方式のBS放送です。NHK衛星第一/衛星第二、NHKハイビジョン、WOWOWと独立音声ラジオ放送(St. GIGA)です。
この取扱説明書では、BSアナログ放送またはBS放送と言っています。

BSデジタル放送

2000年12月に本放送が開始されたデジタル方式のBS放送です。BSデジタル放送をご覧になるには、BSデジタルチューナーを接続する必要があります。

ご注意

AV-32AD2ではハイビジョン放送はご覧になれません。
AV-28A2ではBSアナログ放送はご覧になれません。

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

テレビを使い
こなす

アンテナの
接続と設定

AV機器を
つなぐ

こまったときは

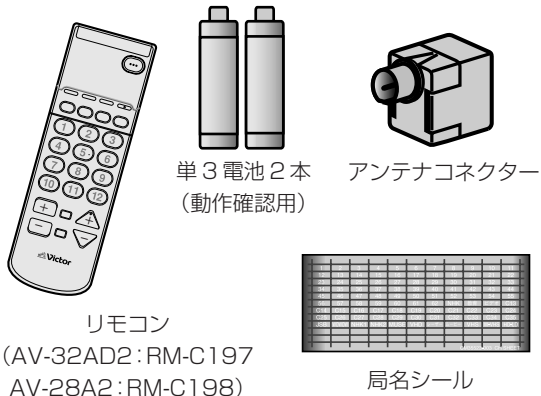
テレビを見る前に

テレビを見る前の準備

次の準備はお済みですか？ まだでしたら、参照ページをご覧になり準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



2 アンテナをつなぐ

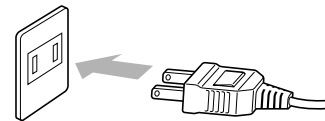
- VHF、UHF アンテナをつなぐには (P.42)
- BS アンテナをつなぐには (AV-32AD2のみ P.51、P.52)
- CATVケーブルをつなぐには (CATV各社にお問い合わせください。)

3 AV 機器などをつなぐ

- ビデオデッキ、BSデジタルチューナーなどのビデオ機器をつなぐには (P.58～P.65)
- テレビゲーム機をつなぐには (P.58)
- アンプ(オーディオシステム)をつなぐには (P.65)

4 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。



5 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。(詳しくは17ページをご覧ください。)

6 受信チャンネルを合わせる

- チャンネルを一括して設定するには (P.44)
- 放送局をひとつずつ設定するには (P.46)
- CATVを見るには (P.48)
- BSチャンネルの設定を変更するには (AV-32AD2のみ P.55)

7 地磁気による影響を減らす

大型テレビは地球の磁気(地磁気)の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁気による影響をなるべく少なくしてからお使いください。

- 地磁気による影響を少なくする (P.41)
- 地磁気による画面の傾きを補正する (P.40)

テレビを見る前に

知っておいていただきたいこと

テレビを
見る前に

テレビの絵が明るすぎたり、ざらついたりしていませんか？

このテレビのお買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵づくりになっております。ご家庭の環境に適した映像や効果的な省エネ（節電）をするために以下の3つの設定、調節をされることをおすすめします。

1. 映像選択を選びましょう (☞ 設定の方法は 30 ページ)

ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

2. 節電機能を設定しましょう (☞ 設定の方法は 35 ページから 37 ページ)

ふだんはおトク設定を「すべて設定する」にしてご使用になることをおすすめします。

3. 画面がざらついて見えるときは映像調節をしましょう (☞ 設定の方法は 31 ページ)

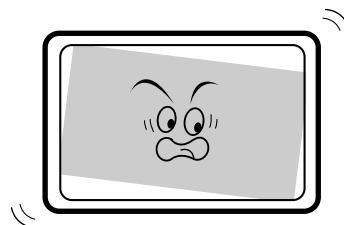
映像調節の「ノイズクリア」を「弱」、「中」、「強」の順に切り換えてみてください。

映像の傾きが気になるときは、画面の傾き調節をおためしてください。

テレビは地磁気の影響を受けています

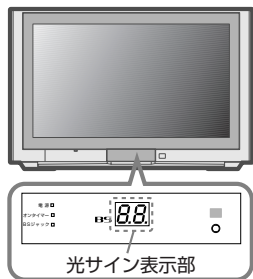
テレビの設置方向によっては、画面の映像が右上がりになったり、左上がりになることがあります。これは地磁気の影響によるものです。特に画面の大きなテレビでは地磁気の影響を受けやすくなっています。故障ではありません。

40 ページの手順にしたがって調節してみてください。

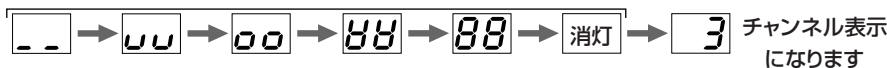


「光サインディスプレイ」をご紹介します

このテレビには、チャンネル番号やビデオ入力の表示以外に、いくつかの設定を光の動きでお知らせする機能を持っています。その表示内容をご紹介します。



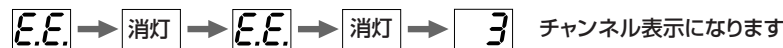
本機の電源を入れたとき



ナチュラルシネマを使ったとき (3 回表示がくり返されます)

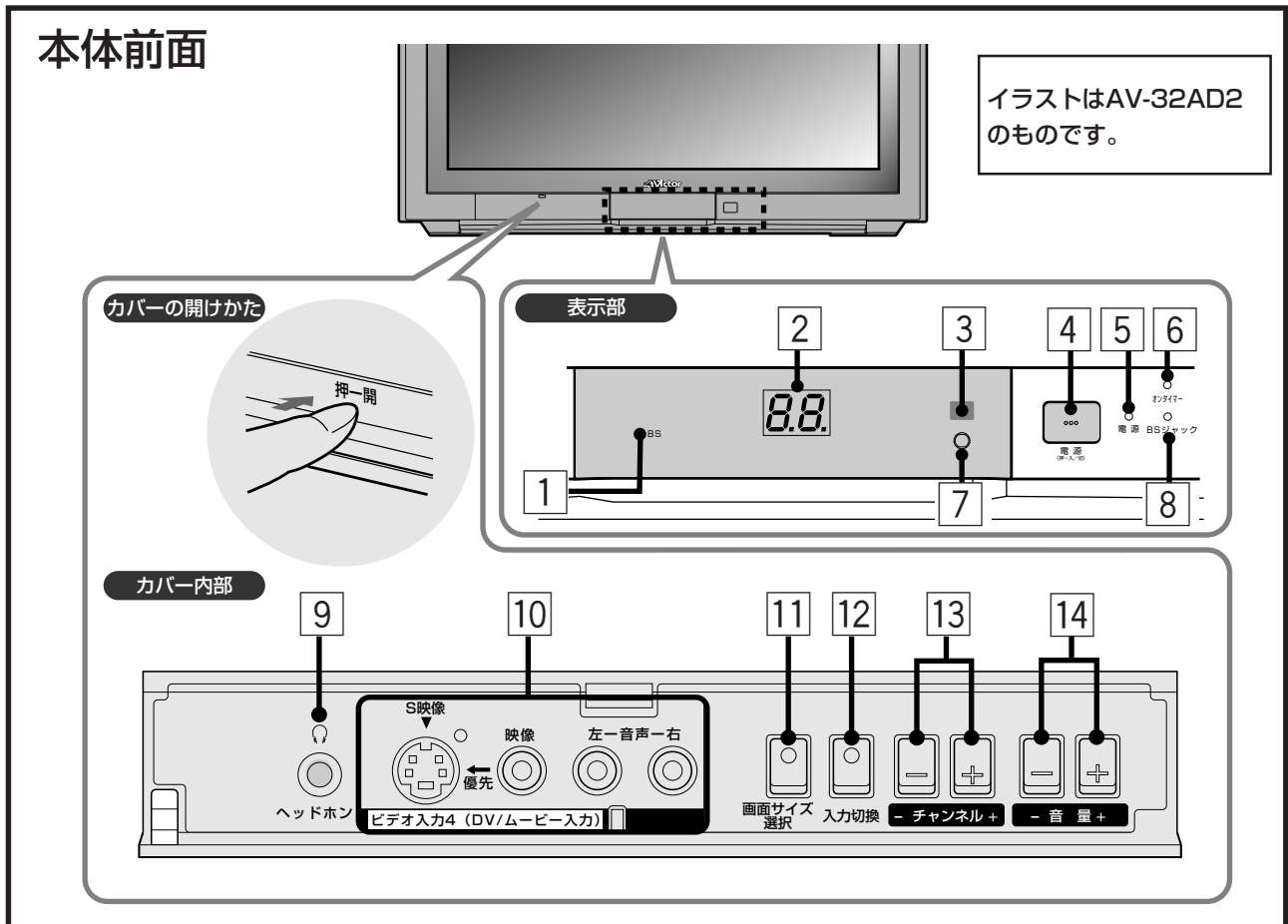


おトク設定で「デジタル E.E.」を使う設定のとき



●この機能を使うには、画面表示の設定を「光サイン」にします。(19 ページ)

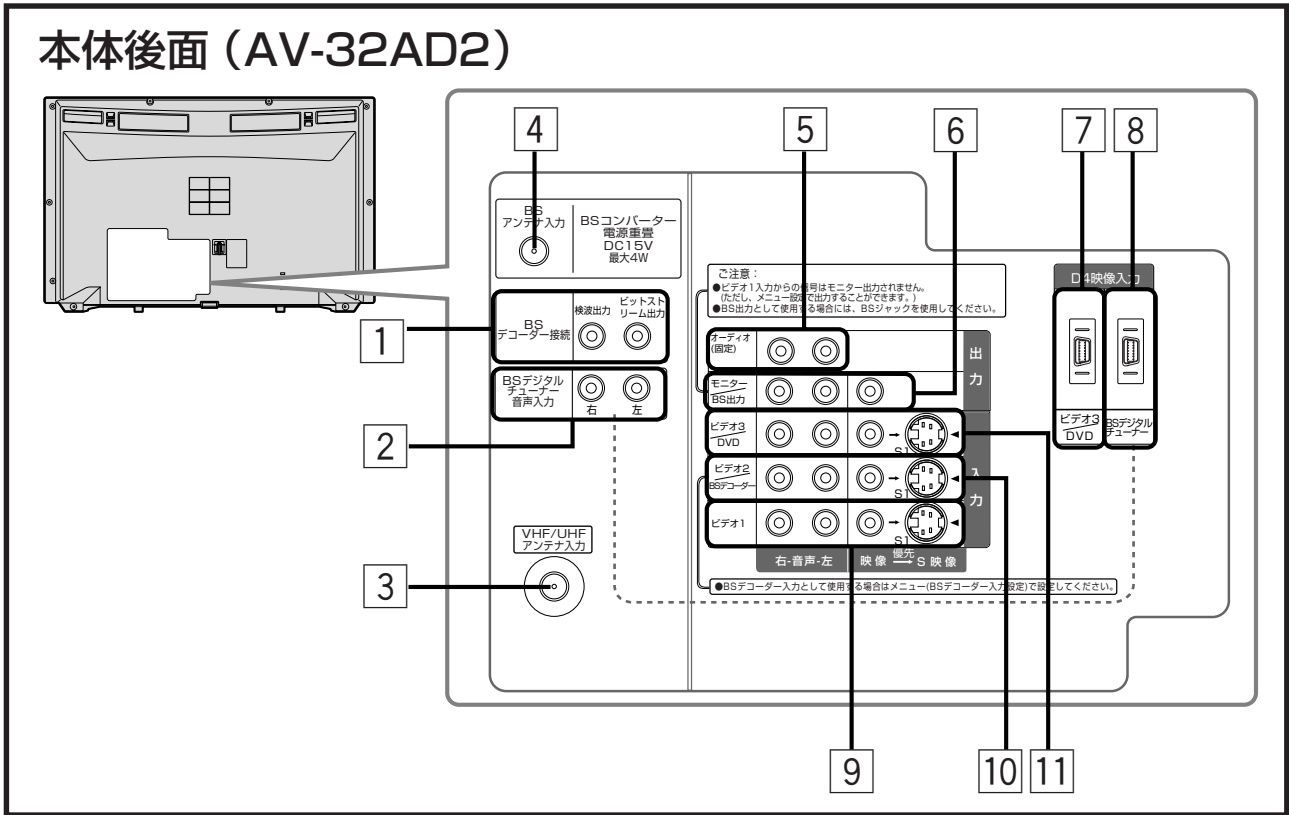
テレビを見る前に 各部のなまえ



イラストはAV-32AD2
のものです。

- 1 **BS表示** (AV-32AD2のみ)
BS放送を選んでいるときに点灯します。
- 2 **チャンネル/入力表示部** 18ページ
ふだんは受信しているチャンネル番号やビデオ入力の番号が表示されます。テレビの電源を入れたりすると、チャンネル表示をする前に、表示が変わります。(画面表示の設定が「光サイン」のとき 11ページ)
- 3 **リモコン受光部** 18ページ
リモコンを操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。
- 4 **電源ボタン** 18ページ
本体の電源を入/切します。
- 5 **電源ランプ**
本体の電源が「入」のとき、点灯します。
- 6 **オンタイマーランプ** 34ページ
「おはようタイマー」を設定しているとき点灯します。
- 7 **デジタルE.E. センサー** 35、37ページ
省電力機能の「おトク設定」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です
- 8 **BSジャックランプ**
(AV-32AD2 29、59ページ)
BSジャック中に点灯します。
ナチュラルシネマランプ (AV-28A2 29ページ)
ナチュラルシネマになっているときに点灯します。
- 9 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。
- 10 **ビデオ4 (DV/ムービー入力) 端子**
58ページ
ビデオムービーやテレビゲーム機の映像・音声出力端子とつなぎます。(S映像端子と映像端子を同時につないだときは、S映像端子の入力信号が優先されます)
- 11 **画面サイズ選択ボタン** 23ページ
画面サイズを変更するときに使います。
- 12 **入力切換ボタン** 19ページ
ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
- 13 **チャンネル+/-ボタン** 18ページ
チャンネルを変えるときに使います。
- 14 **音量+/-ボタン** 18ページ
音量を調節するときに使います。

本体後面 (AV-32AD2)



1 BSデコーダー接続端子 60ページ

BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子へつなぎます。

2 BSデジタルチューナー音声入力端子

62ページ

BSデジタルチューナー：D4映像入力端子に接続した機器の音声出力端子をつなぎます。

3 VHF/UHFアンテナ入力端子 42ページ

VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

4 BSアンテナ入力端子 51ページ

BSアンテナをつなぎます。

5 オーディオ出力 (固定) 端子 65ページ

AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。

6 モニター/BS出力端子

59ページ

テレビに映っている映像・音声を出力したり (モニター)、BS放送の映像・音声を出力します。

- BSジャック機能によりこの端子をモニター出力端子か、BS出力端子かに設定することができます。
- D4入力 (ビデオ3) 端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。

7 ビデオ3/DVD：D4映像入力端子

63ページ

DVDプレーヤーなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力されたS映像信号や映像信号より優先されます。

8 BSデジタルチューナー：D4映像入力端子

62ページ

BSデジタルチューナーのD映像出力端子をつなぎます。

9 ビデオ1入力端子 59、61ページ

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

10 ビデオ2/BSデコーダー入力端子

60ページ

ビデオデッキまたはBSデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。

- メニューの設定により、ビデオ2入力端子か、BSデコーダー入力端子かを選ぶことができます。
(S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

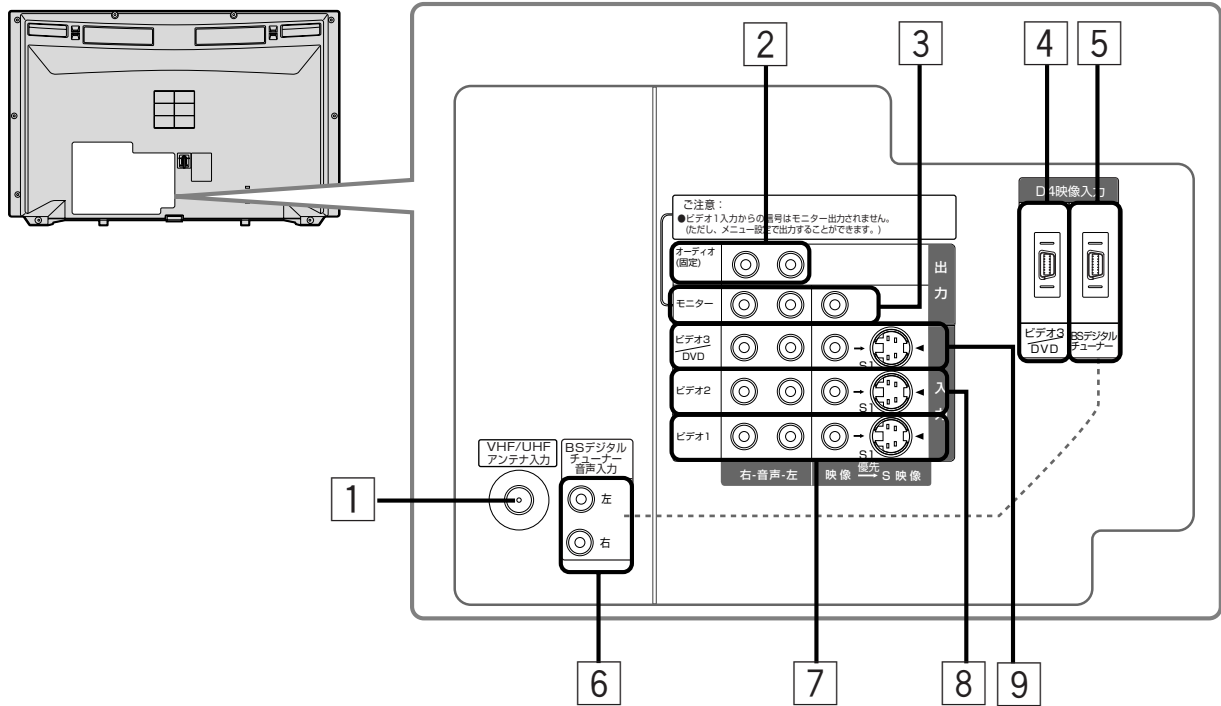
11 ビデオ3/DVD入力端子 63ページ

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

(S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

テレビを見る前に 各部のなまえ (つづき)

本体後面 (AV-28A2)



1 VHF/UHFアンテナ入力端子 ㊦ 42ページ
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

2 オーディオ出力 (固定) 端子 ㊦ 65ページ
AVアンプなどの音声入力端子へつなぎます。

3 モニター出力端子

㊦ 59ページ

テレビに映っている映像・音声を出力します。

- D4映像入力 (ビデオ3/DVD、BSデジタルチューナー) 端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。

4 ビデオ3/DVD:D4映像入力端子

㊦ 63ページ

DVDプレーヤーなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力されたS1映像信号や映像信号より優先されます。

5 BSデジタルチューナー:D4映像入力端子

㊦ 62ページ

BSデジタルチューナーのD映像出力端子をつなぎます。

6 BSデジタルチューナー音声入力端子

㊦ 62ページ

BSデジタルチューナー:D4映像入力端子に接続した機器の音声出力端子をつなぎます。

7 ビデオ1入力端子 ㊦ 59、61ページ

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

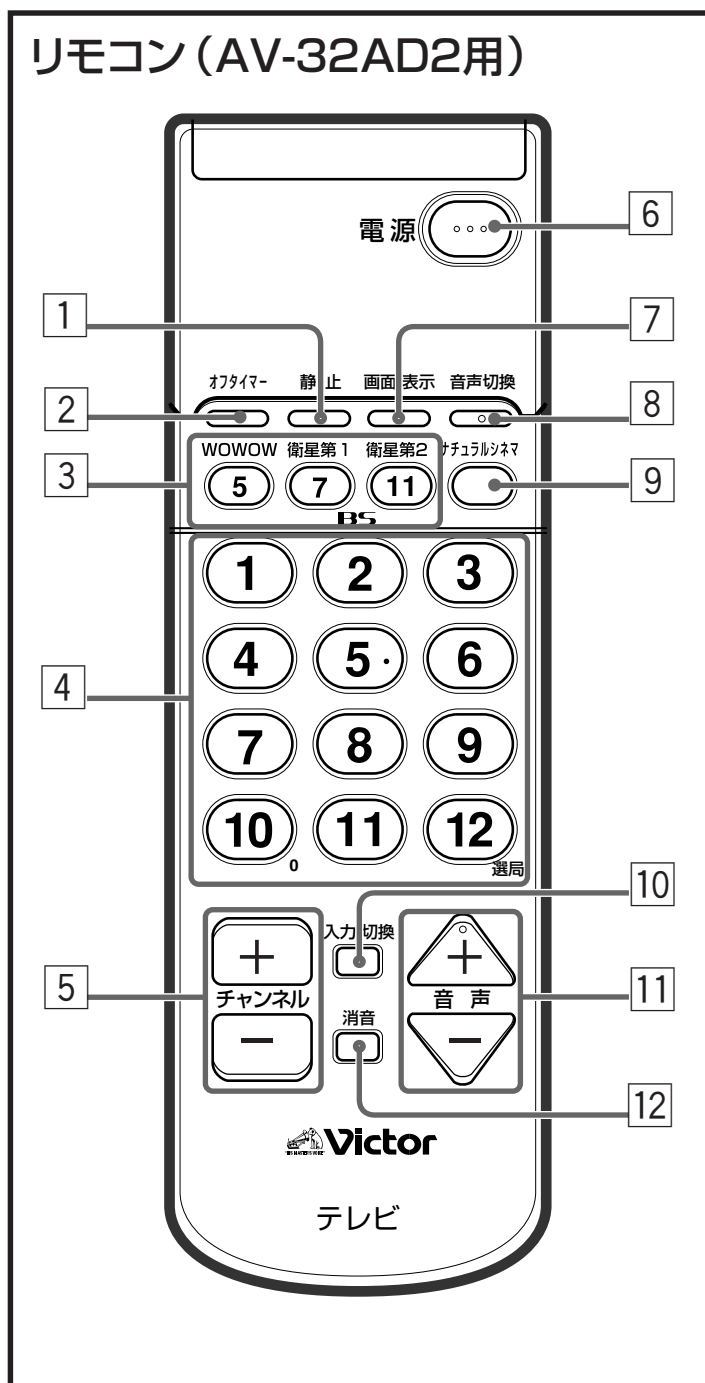
8 ビデオ2入力端子

㊦ 60ページ

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

9 ビデオ3/DVD入力端子 ㊦ 63ページ

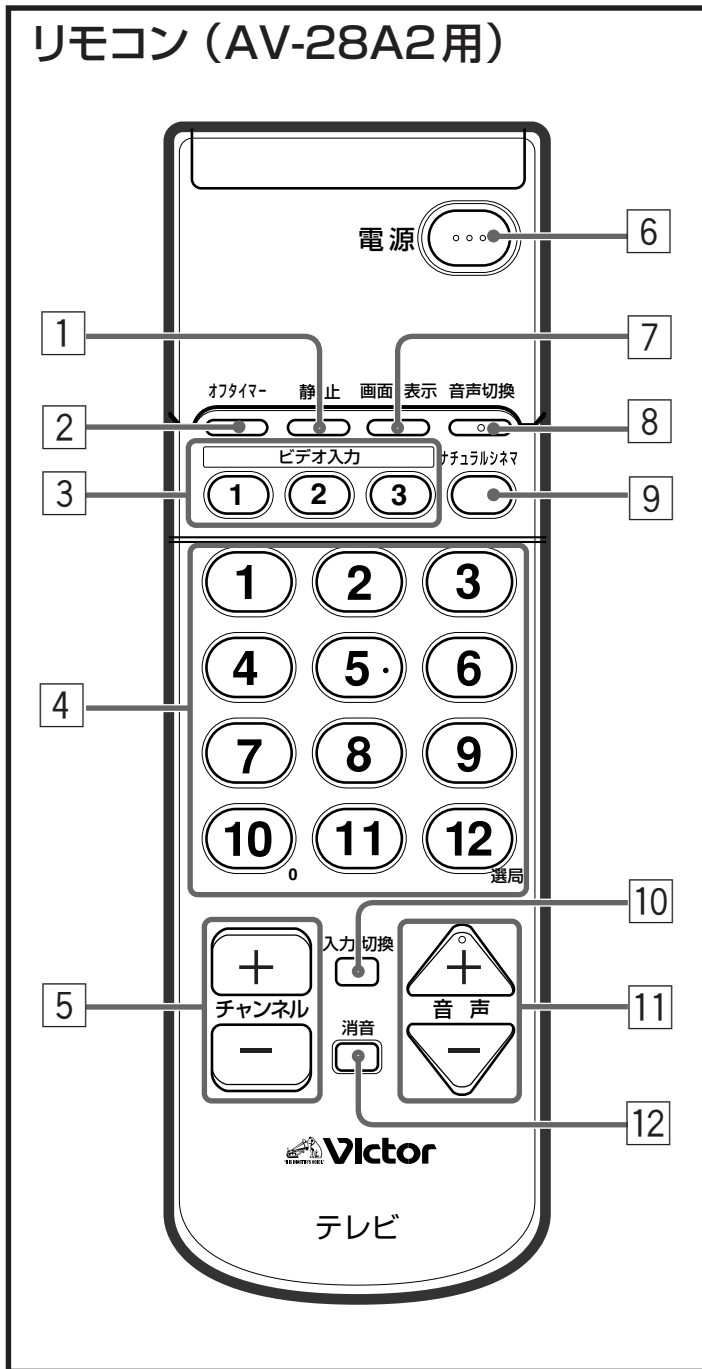
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)



- 1 静止ボタン**
押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。
☞ 27ページ
- 2 オフタイマーボタン**
一定時間後に電源を切りたいときに使います。
☞ 19ページ
- 3 BSチャンネルボタン**
BS放送のチャンネルを選ぶときに使います。
☞ 18ページ

- 4 チャンネル数字ボタン**
VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。
☞ 18ページ
- 5 チャンネル+/-ボタン**
チャンネルを順番に変えるときに使います。
☞ 18ページ
- 6 電源ボタン**
電源を入/切します
☞ 18ページ
- 7 画面表示ボタン**
チャンネル番号やビデオ入力番号、光サインなどを画面に表示させたいときに使います。
☞ 19ページ
- 8 音声切替ボタン**
二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。
☞ 33ページ
- 9 ナチュラルシネマボタン**
フィルム撮影された映画番組や映画ソフトまたは、アニメーションなどを見るときに使います。
☞ 29ページ
- 10 入力切替ボタン**
ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
☞ 19ページ
- 11 音量+/-ボタン**
音量を調節するときに使います。
☞ 18ページ
- 12 消音ボタン**
一時的に音を消すときに使います。もう1度押すと元の音量に戻ります。
☞ 19ページ

テレビを見る前に 各部のなまえ (つづき)



1 静止ボタン

押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。
☞ 27ページ

2 オフタイマーボタン

一定時間後に電源を切りたいときに使います。
☞ 19ページ

3 ビデオ入力ボタン

ビデオ1~3入力を選ぶときに使います。
☞ 19ページ

4 チャンネル数字ボタン

VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。
☞ 18ページ

5 チャンネル+/-ボタン

チャンネルを順番に変えるときに使います。
☞ 18ページ

6 電源ボタン

電源を入/切します。
☞ 18ページ

7 画面表示ボタン

チャンネル番号やビデオ入力番号、光サインなどを画面に表示させたいときに使います。
☞ 19ページ

8 音声切換ボタン

二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。
☞ 33ページ

9 ナチュラルシネマボタン

フィルム撮影された映画番組や映画ソフトまたは、アニメーションなどを見るときに使います。
☞ 29ページ

10 入力切換ボタン

ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
☞ 19ページ

11 音量+/-ボタン

音量を調節するときに使います。
☞ 18ページ

12 消音ボタン

一時的に音を消すときに使います。もう1度押すと元の音量に戻ります。
☞ 19ページ

ふたの開けかた

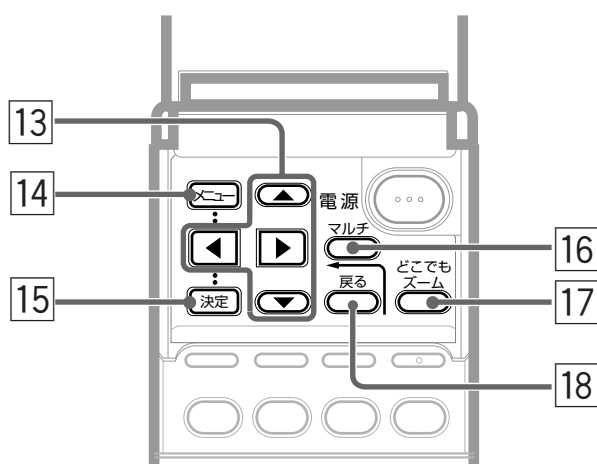


● ふたを閉めるときは

ふたを閉めるときには、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

ふたが閉まっていないとボタンが正しく働かないことがあります。

リモコンふたの中 (AV-28A2/32AD2 共通)



13 カーソル (◀/▶/▲/▼) ボタン

メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。☞ 20ページ

14 メニューボタン

押すとメニューが表示されます。
☞ 20ページ

15 決定ボタン

選んだ項目や設定を決定するときに使います。
☞ 20ページ

16 マルチボタン

押すとマルチ画面アイコン (2画面、裏番組一覧、番組一覧) が表示されます。
☞ 25ページ

17 どこでもズームボタン

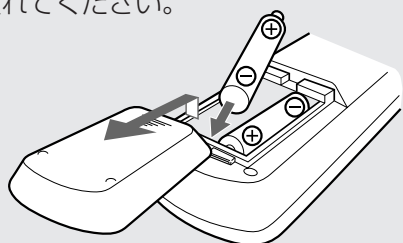
画面の好きな部分を拡大することができます。
☞ 28ページ

18 戻るボタン

前のメニュー画面に戻りたいときに押します。

電池の入れかた

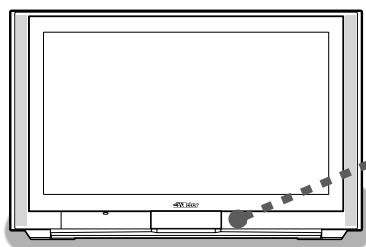
単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖ (マイナス) 側を先に入れてください。



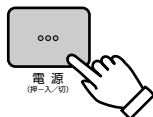
- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったなら交換してください。

ふだんの使いかた テレビを見る

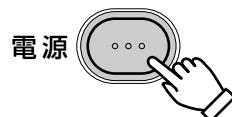
この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。



1 電源を入れる



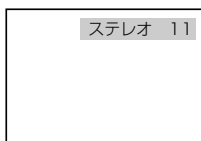
電源ランプが消えているとき



電源ランプが点灯しているとき

2 チャンネルを選ぶ

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/-ボタンを使ってチャンネルを選びます。選んだチャンネルが本体サイン表示部または画面に表示されます。



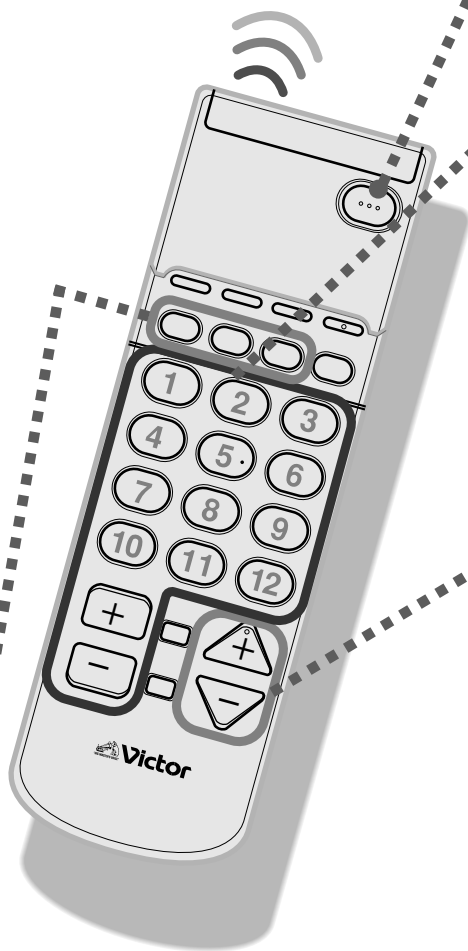
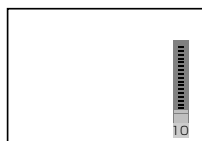
画面表示



本体光サイン表示部

3 音量を調節する

音量ボタンを押すと、画面に音量が表示されます。



BS 放送を見る (AV-32AD2 のみ)

WOWOW 衛星第1 衛星第2

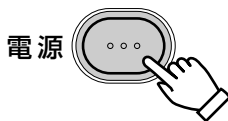
5 7 11



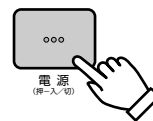
- ・ BS放送 (アナログ) を見ることができます。
- ・ チャンネル+/-ボタンでも選ぶことができます。

* BS デジタル放送を見るには BS デジタルチューナー (別売) が必要です。(P.62 ページ)

電源を切るには



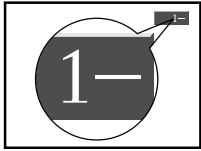
電源



電源 (押-入/切)

- ・ リモコンで操作したいとき
- ・ 節電したいとき

チャンネルボタンを押すと画面に「1」が表示される時は・・・



押したチャンネルボタンと同じ数字の横に「-」が表示される時は、数字入力方式になっています。(2桁の数字で入力して選びます。)

チャンネルボタンを1つ押してチャンネルを選びたいときは、「CATV 選局方式の選択」メニューで「12ボタン方式」を選んでください。(48ページをお読みください。)

数字入力方式のチャンネルの選びかた

見たいチャンネルを2桁の数字で入力し、選びます。

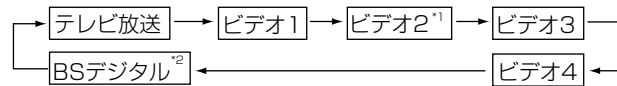
- ・ 0は10ボタンを使います。
- ・ 1桁のチャンネルは3つの方法があります。
- ① 1桁のチャンネルボタンを押したあとに、12ボタン(選局)を押す。
- ② 最初に0(10)ボタンを押して1桁目の数字を押す。
- ③ 1桁目のチャンネルボタンを押してから約3秒待つ。

1～12はチャンネル合わせで設定したチャンネル、13～38はCATVのチャンネルを選ぶことができます。

ビデオなどの映像を見るには



押すたびに、入力が次のように切り換わります。



入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

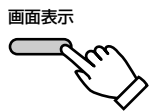
選択中の設定が矢印で示されます。

*1 AV-32AD2で、次の設定をしているときは「ビデオ2」を選べません。メニューで「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「自動切換えする」または「常に使用する」に設定しているとき。

*2 BSデジタルチューナー用のD端子に何も接続されていないときは「BSデジタル」を選べません。入力切換表示には表示されていますが、選ぶとスキップされてチャンネルが映ります。選ぶときは本体光サイン部に「L5」と表示されます。

AV-28A2では、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3は専用のボタンで選ぶことができます。

いろいろな表示を出すには



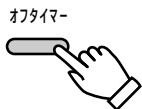
押すと画面表示メニューが表示されます。選んだ設定により画面や本体表示窓の表示が変わります。

画面表示
光サイン
入力表示
時計表示
表示なし

選択中の設定が矢印で示されます。

- 光サイン ... 本体表示窓にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- 入力表示 ... 画面右上にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- 時計表示 ... 画面右下に時計が表示されるようになります。
- 表示なし ... チャンネルを変えたときや外部入力に切り換えたとき、一定時間チャンネル番号や外部入力が表示されたあと消えます。

おやすみタイマーを使う (オフタイマー機能)



テレビを見ながら寝てしまいそうなとき使います。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

オフタイマー
切り(解除)
30分
1時間
1時間30分
2時間

選択中の設定が矢印で示されます。

残り時間表示

残り時間はテレビの操作をすると消えます。ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

再設定あるいは解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。

1度押すと、設定画面を表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。設定後、画面に残り時間が表示されます。

急いで音を消すには



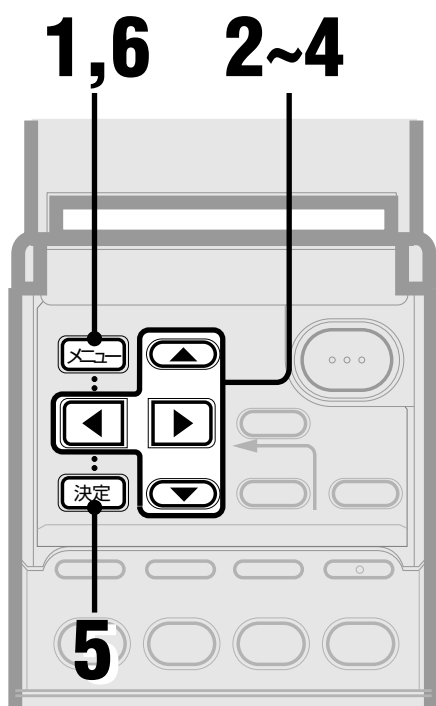
電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

メニューボタンの使いかた

このテレビではリモコンを使って「メニュー」と呼ばれる画面上の表示と対話しながら操作（設定や調整など）をおこないます。

ここでは、メニューの基本的な使いかたを説明します。

ふたを開けたところ

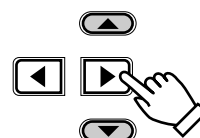


1 メニューボタンを押す

画面にメニューが表示されます。(画面は右ページのいずれかが表示されます)

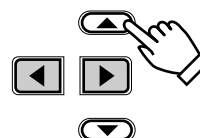


2 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定したい項目を選ぶ



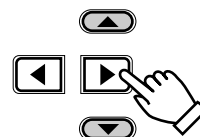
メニュー画面上部の \curvearrowright が移動して、表示されるメニューの項目が変わります。表示されるメニューについては右ページをご覧ください。

3 カーソルボタン(▼▲)を押して、調節や設定をしたい項目を選ぶ



\curvearrowright を調節や設定したい項目に移動します。

4 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する



選ばれた項目の設定が変わります。

5 決定ボタンを押す

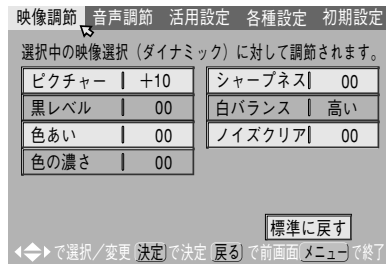
変更した内容が記憶されます。



6 メニューボタン(☒)を押して終了する

画面からメニューが消えます。

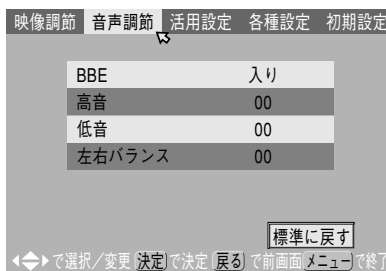
映像調節



肌の色合いや色の濃さを調整したいときに使います。

映像選択が「シアター」のときは、ノイズクリアの下に「シアタープロ設定」が表示され、細かな設定ができるようになります。

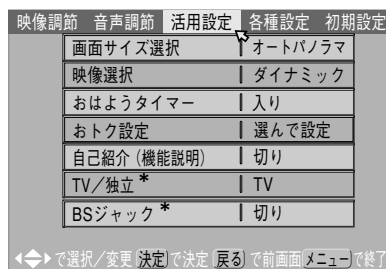
音声調節



音声の調節(高音、低音、左右のバランス)をしたいときに使います。

便利な機能
で楽しむ

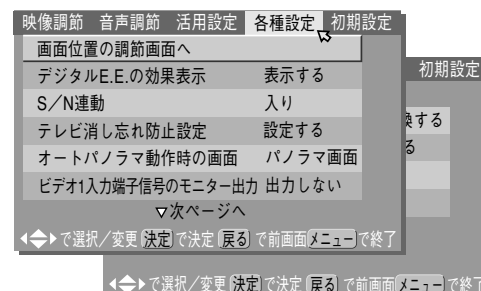
活用設定



画面サイズを変えたり、ご覧になるソフトに合わせて映像の設定を変えたり、省電力機能を使いたいときに使います。

* 「BSジャック」、「TV/独立」はAV-32AD2のみです。

各種設定

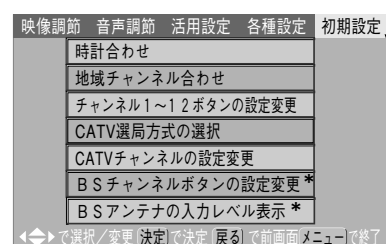


活用設定や初期設定の補助的なメニューで、2ページで構成されています。

必要に応じて使います。

* 「BSアンテナへの電源供給設定」はAV-32AD2のみです。

初期設定



テレビを設置するときに、テレビ本体の内蔵時計を合わせたり、チャンネルの設定をするときに使います。

* 「BSチャンネルボタンの設定変更」、「BSアンテナの入力レベル表示」はAV-32AD2のみです。

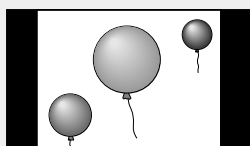
画面サイズの種類

ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。

ノーマル

●テレビ番組をオリジナルのサイズで映す

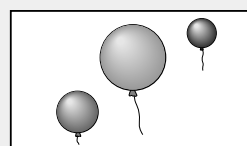
従来のテレビの映像は、縦と横の比率が4:3となっています。この映像をオリジナルのサイズで映します。このとき、左右に黒い帯が残ります。



シネマ

●映画番組を見るとき

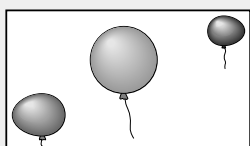
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては黒い帯が残ることがあります。



パノラマ

●テレビ番組を横幅にあわせて拡大する

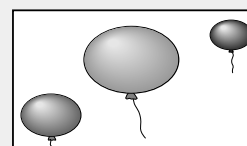
従来のテレビの映像(4:3)を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。



フル

●テレビ番組を画面いっぱいに拡大する

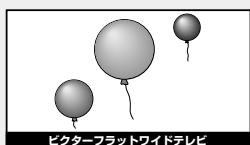
従来のテレビの映像(4:3)を、そのまま画面いっぱいに映します。



字幕パノラマ

●字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



著作権の侵害について

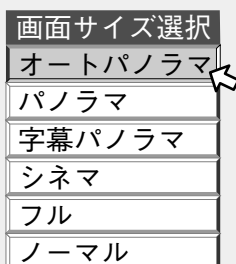
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

「ノーマルサイズ」ご使用時の注意

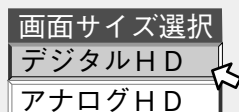
長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている入力に合わせて一覧が表示されます。

■地上波放送やビデオなど (NTSC)



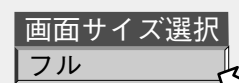
■ハイビジョン (1125i, D4映像入力)*



■プログレッシブ (525p, D4映像入力)*



■プログレッシブ (750p, D4映像入力)

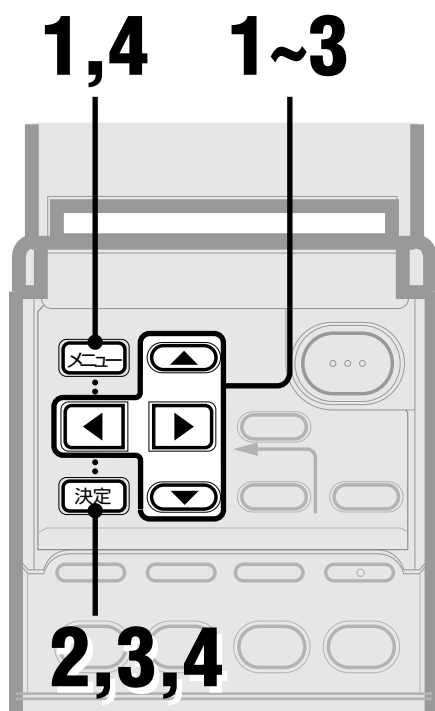


(*「用語解説」P.75)

画面サイズを変えるには

ご覧になっている映画や番組に合わせて、最適な画面サイズを選びます。

ふたを開けたところ



本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

こんなときは？

「オートパノラマ」のときは…

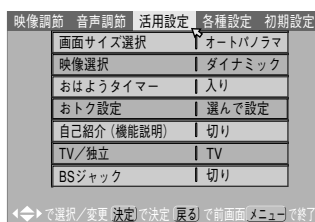
「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズが自動的に設定されます。

- 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」(P.24)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると…画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。(*「用語解説」P.75)

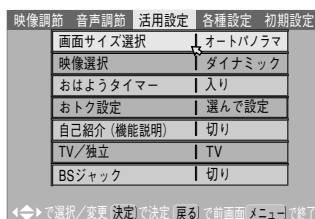
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「画面サイズ選択」を選ぶ



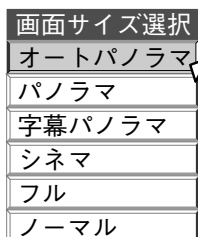
選んでから



3

カーソルボタン()でお好みの画面サイズを選ぶ

ご覧になっている放送やお使いの外部入力端子により、選ぶことのできる画面サイズが表示されます。



選んでから



(例:地上波テレビ放送のとき)

選んだ画面サイズに切り換わります。

4



決定ボタン()またはメニューボタン()を押して決定する


ボタンを押さなくても、数秒すると選んでいる画面サイズに決定されます。

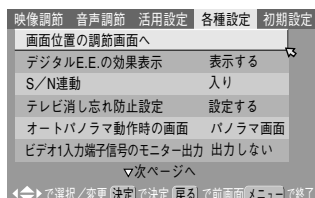
便利な機能
で楽しむ

画面の位置を調節する

映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節します。


1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ

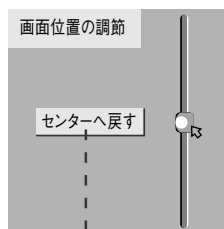
2 カーソルボタン()で「画面位置の調節画面へ」を選ぶ





選んでから



3 カーソルボタン()で画面の位置を調節する



センターに戻したいときは、カーソルボタン()で「センターへ戻す」を選んで「決定」ボタンを押します。



4 メニューボタン()を押して終了する


注意!

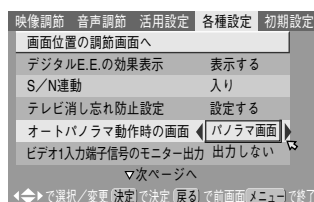
- ノーマルサイズでご覧になっているときは、画面上下移動はできません。
- 画面サイズを切り換えると、画面上下移動の設定は解除されます。


オートパノ라마の画面サイズを設定する

オートパノ라마のとき、画面サイズ4:3の映像を、自動的に画面いっぱい拡大して映すか、画面サイズ4:3の映像で映すかを設定します。


1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で「オートパノ라마動作時の画面」を選ぶ



3 カーソルボタン()で設定を変更する

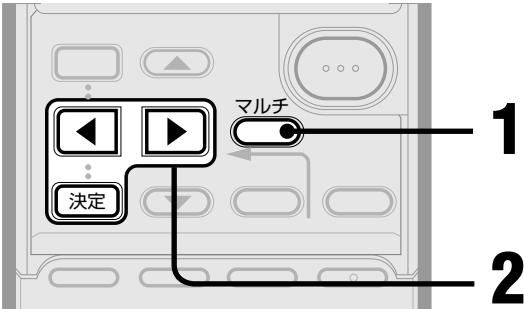
- 「ノーマル画面」:
従来(テレビサイズ)のときは、画面サイズが4:3の画面になります。パノ라마画面での映像の変形が気になる方はこちらを選びます。
- 「パノ라마画面」:
画面いっぱいの映像になります。

4 メニューボタン()を押して終了する

2画面で見る

2つの番組を同時に楽しむことができます。

ふたを開けたところ

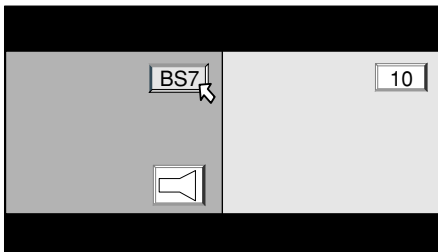


1 マルチボタン()を押
し、画面下に選択表示を出す



2 カーソルボタン()で
を「2画面」に合わせて、決定
()ボタンを押す

2画面表示になります。



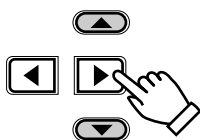
1画面に戻すには

2画面中に決定ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

- 次の方法でも1画面に戻せます。
- 1 2画面中にマルチボタンを押し、マルチアイコンを表示する。
- 2 が「1画面」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す。

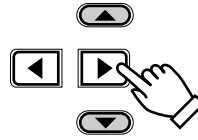
操作できる画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作できる画面になっています。操作できる画面を変えるにはカーソルボタン()を押します。音声は操作できる画面の音声スピーカーから聞こえてきます。操作できる画面はチャンネル入力緑色で表示されています。

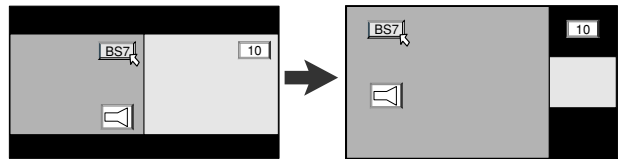


画面を拡大するには

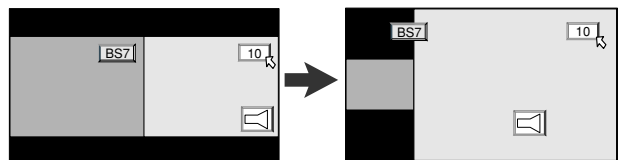
2画面中にカーソルボタンを押すと操作できる画面のほうが大きくなります。



- カーソルボタン()を2回押します。



- カーソルボタン()を2回押します。



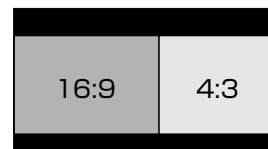
2画面で見ることができる組み合わせ

	右画面									
	テレビ	ビデオ1	ビデオ2	ビデオ3	ビデオ4	BSデジタルチューナー	映像・S映像入力	D4映像入力	映像・S映像入力	D4映像入力
左画面	テレビ	VHF/UHF/CATV	×	○	○	○	○	×	○	×
		アナログBS	○	×	○	○	○	×	○	×
	ビデオ1		○	○	×	○	○	×	○	×
	ビデオ2		○	○	○	×	○	×	○	×
	ビデオ3	映像・S映像入力	○	○	○	○	×	×	○	×
		D4映像入力	△ ¹⁾	△ ¹⁾	△ ¹⁾	△ ¹⁾	△ ¹⁾	×	△ ¹⁾	×
	ビデオ4		○	○	○	○	○	×	×	×
	BSデジタルチューナー		○	○	○	○	○	×	○	×

¹⁾ 750pの信号では2画面で見ることができません。

ご注意

- ヘッドホンをつなぐと、操作できる画面のスピーカーマークがヘッドホンのマークにかわります。操作できる画面の音声を聞くことができます。
- 左画面に次のような信号が入力されると、16:9の画面サイズになります。
 - ・S映像入力から「フル」の信号が入力されたとき
 - ・D4入力端子から16:9の信号が入力されたとき



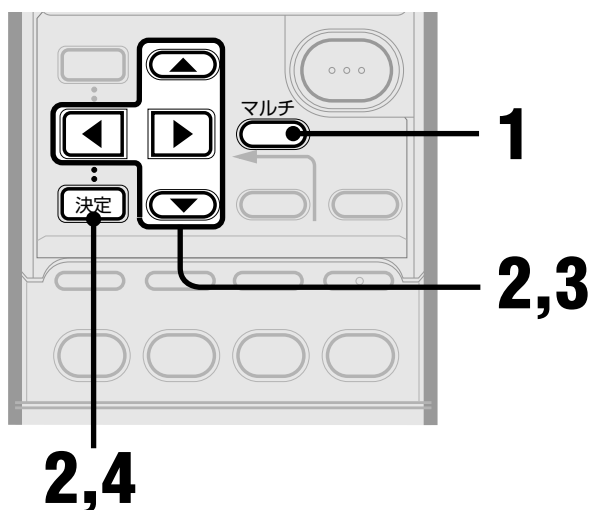
- 2画面中はオートパンorama(P.23)は使えません。

便利な機能
で楽しむ

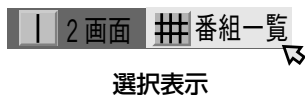
番組一覧を表示する

番組一覧は現在放送されている番組を順番に分割画面に表示します。
番組を選ぶときに使います。

ふたを開けたところ



1 マルチボタン()を押して、画面下に選択表示を出す



2 カーソルボタン()で「番組一覧」に合わせて、決定ボタン()を押す

画面が(9、12または16)分割されて、番組が静止画で映ります。(最初の表示中は音声は聞こえません。)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
BS5	BS7	BS9	BS11
*	*	*	*

* AV-32AD2のみ

受信できる放送局が16以上あるときは、カーソルボタン()を押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

● 一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

3 カーソルボタン()で見たい番組を選ぶ

カーソルボタン()を使うと素早く番組を選ぶことができます。

4 決定ボタン()を押して選んだ番組を1画面にする

選ばれたチャンネルが1画面に表示されます。

BSジャック中は(AV-32AD2のみ)

BSチャンネルは、BSジャックしているチャンネルだけが表示されます。他のチャンネルは表示されません。

表示されないチャンネル

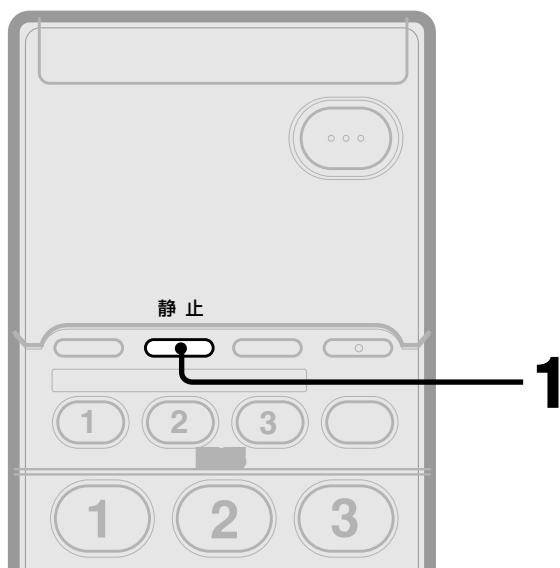
番組一覧で表示できるチャンネルは、チャンネル+/-ボタンで選局できるチャンネルです。
チャンネル+/-ボタンで選局できないチャンネルは表示されません。(画面は黒く表示されます)

番組一覧中にできない操作

次の機能またはボタンは操作できません。

- ・ オートパンorama機能
- ・ ナチュラルシネマボタン、音声切換ボタン、静止ボタン、オフタイマーボタン、チャンネル+/-ボタン、入力切換ボタン、どこでもズームボタン

メモ機能を使う（静止画）



今見ている映像を静止画面で見ることが
できます。
応募先の住所などをメモするときに便利で
す。
同時に今まで見ていた番組も楽しめます。

こんなときは？

2画面中に静止ボタンを押すと…

操作できる画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度静止ボタンを押すと元の2画面に戻ります。

● 操作画面が右画面のときは、静止ボタンは働きません。

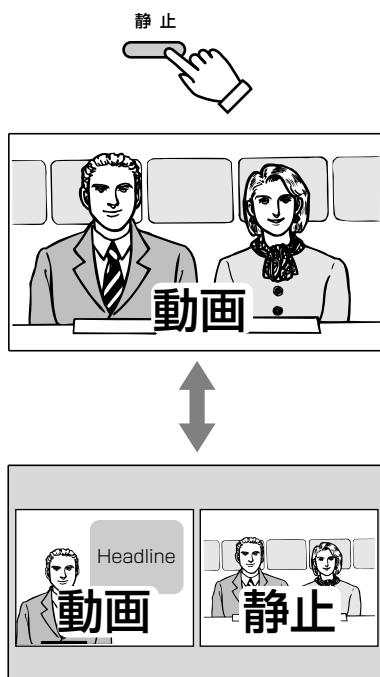
次のようなときは、静止画をご覧になることはできません。

● 番組一覧を表示中のとき。

● D4映像入力端子から750pの映像をご覧のとき。

便利な機能
で楽しむ

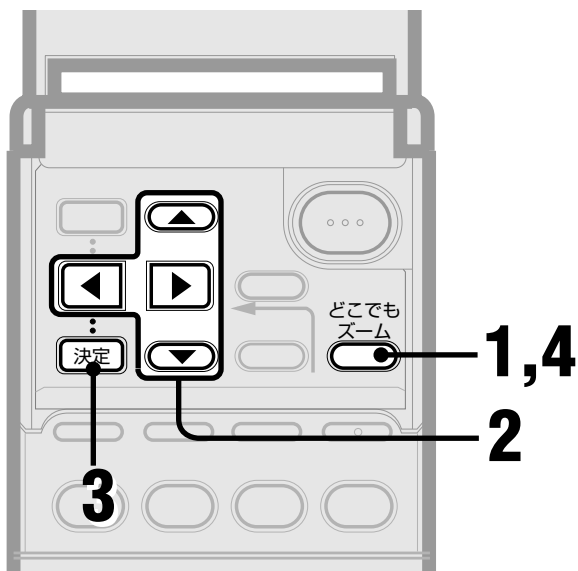
1 静止させたい場面で静止ボタンを押す



※もとの画面に戻すには、もう1度静止ボタンを押します。

見たいところを拡大する

ふたを開けたところ



画面の一部を拡大して見ることができます。

1 どこでもズームボタン (どこでもズーム) を押す

画面に拡大範囲をしめす枠が表示されます。(このとき画面サイズはフルに変わります。)



拡大される範囲

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)でズームしたい場所に枠を移動させる



ズーム枠

3 決定ボタン(決定)を押す

ズーム枠で囲まれた範囲が、画面いっぱいに表示されます。



4 ズームを解除するには、どこでもズームボタン(どこでもズーム)をもう1度押す

ズームが解除されてふだんの映像に戻ります。



ズーム中に拡大したい部分を移動するには

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して拡大したい部分を移動することができます。

拡大された画面について

どこでもズーム機能で拡大された映像は、デジタル処理により拡大しているので、元の映像よりも粗い感じになります。

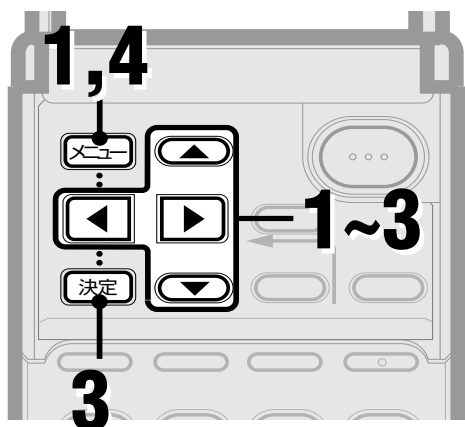
どこでもズームボタンを使っているときは



カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタン、戻るボタンが使えます。


BS 放送を録画しながら テレビを見る (AV-32AD2のみ)



BS放送を録画しながら地上波テレビ放送をご覧になることができます。そのときはBS放送のチャンネルが切り換わらないように、「BSジャック」の設定をしてください。「ビデオデッキを接続する」もご覧ください。(P.59)

ふたを開けたところ




1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で「BSジャック」を選ぶ

3 カーソルボタン()で「入り」を選び、決定ボタン()を押す

BS放送のチャンネルが切り換わらなくなります。

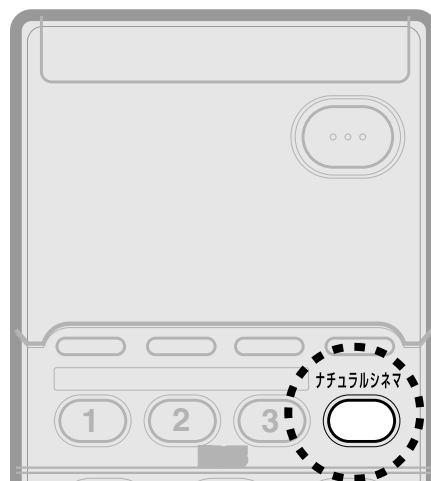
4 メニューボタン()を押して終了する

BSジャック機能について

テレビのBSチューナーを、接続されているビデオデッキの録画用に占有させる機能なので、BSジャック中に受信中のBS放送のチャンネルを変えたり、音声を変えることはできません。また、BSジャック中はテレビの電源ボタンを押して電源を切らないでください。電源を切るとモニター/BS出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出られなくなります。

フィルム撮影された映画 画などをキレイに見る

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。このようなときに、ナチュラルシネマを「入り」にすると動きの速いところも、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。



ナチュラルシネマ
ボタン

ナチュラルシネマボタンを押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にすると、画面に「ナチュラルシネマモードにしました」というメッセージが現れます。

● AV-28A2では、本体の表示部のナチュラルシネマランプが点灯します。

ナチュラルシネマに関するお願い

- 通常はナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。地上波テレビ放送などで、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。
- 2画面中、番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。
 - 次のようなときはナチュラルシネマの設定は「切り」になります。
 - ・ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・2画面や番組一覧に画面を切り換えたとき

また、ハイビジョン(1125i)やプログレッシブ(525p)の番組を見ているときや、2画面中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

便利な機能
で楽しむ

お好みの映像に調節する

必要に応じて操作をしてください。
ふだんは画質を選ぶだけでもお楽しみいただけます。

1.画質を選ぶ (30ページ)
4種類の画質から選びます。

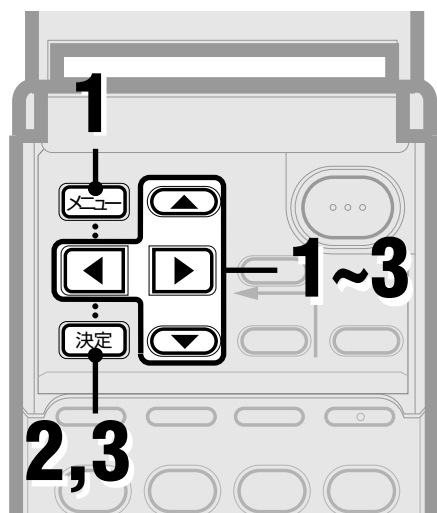
2.映像を調節する (31ページ)
選んだ画質を調節します。

3.シアタープロの調節をする (38ページ)
「シアター」の画質を選んだときに
細かな調節ができます。詳しい知識
をお持ちの方向けの調節です。



映像選択のめやす

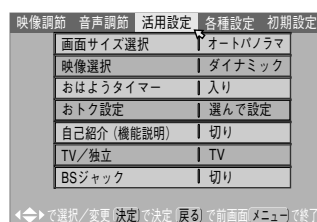
スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくつきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを見たいとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります


ふたを開けたところ

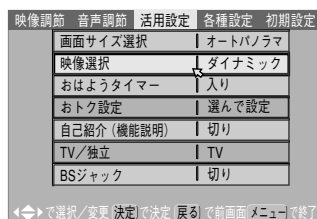


お好みの画質を選ぶ

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ




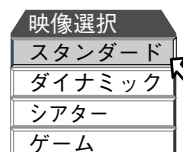
2 カーソルボタン()で「映像選択」を選ぶ



選んでから



3 カーソルボタン()で画質を選ぶ





選んでから

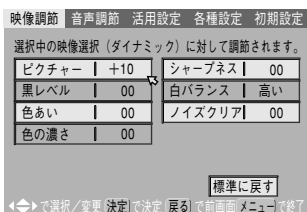




選んだ映像に切り換わり、メニューが画面から消えます。


お好みの映像に調節する


映像を調節する

- 1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「映像調節」を選ぶ



- 2 カーソルボタン()で項目を選び、決定ボタン()を押す

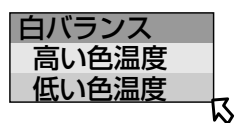
- 3 カーソルボタン()で調節する

ノイズクリアの調節はカーソルボタン()を使います。

例: 「ピクチャー」を選んだとき

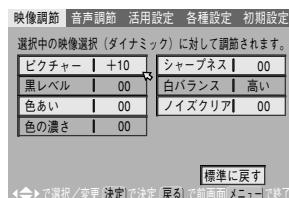


例: 「白バランス」を選んだとき




数秒間、操作を行わないと、手順1の画面に戻ります。

- 4 戻るボタン()または決定ボタン()を押す




● この画面はピクチャーの調節が終わったときの例です。

● 他の項目も調節するときは手順2～4をくり返します。

- 5 メニューボタン()を押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」に  マークを合わせ、決定ボタンを押します。

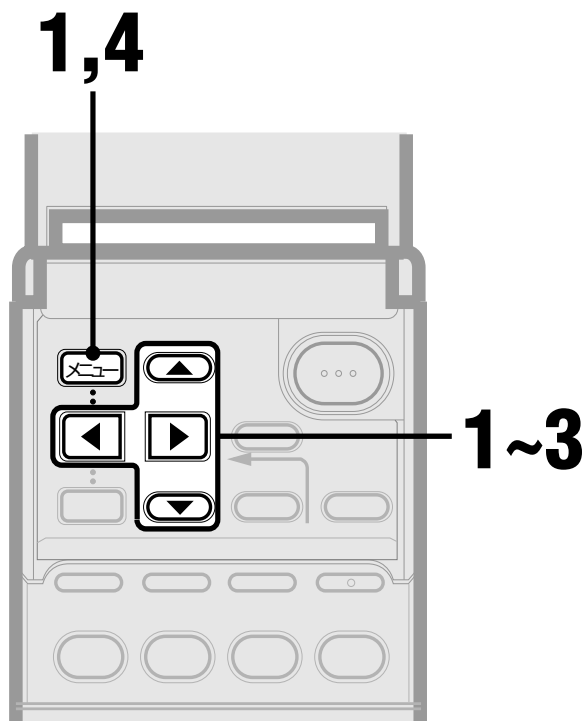
調節項目の内容と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節のめやす
ピクチャー	暗く・淡く	明るく・濃く	明るさ・色の濃さを大まかに決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
白バランス	高	低	画面全体の色調を選ぶ 高：標準 低：赤みが強くなる
色の濃さ	淡く	濃く	交互に調節して健康的な肌色に
色あい	赤っぽく	緑っぽく	好みの輪郭に
シャープネス	やわらか	くっきり	画面のざらつきが少なくなるように調節
ノイズクリア	強	中 弱 切り	

便利な機能
で楽しむ

音声を調節する

ふたを開けたところ



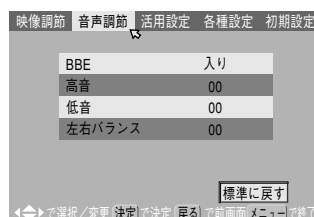
音声調節のめやす

調節項目	◀	▶
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく
BBE*	「入り」と「切り」の切り換え 「入り」に設定すると、原音に忠実に聞きやすい音を再現します。	

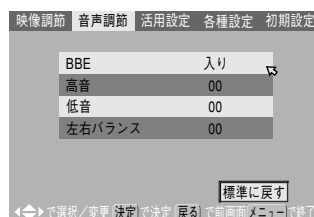
* BBEは、BBE Sound社の登録商標です。

注意：ヘッドホンで聞いているときは、音声調節ができません。

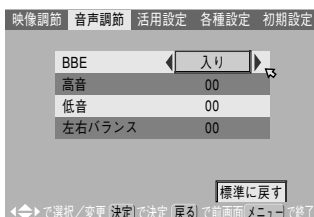
- 1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「音声調節」を選ぶ



- 2 カーソルボタン()で項目を選ぶ



- 3 カーソルボタン()で調節する



- 他の項目も調節するときは
手順2～3をくり返します。

- 4 メニューボタン()を押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」に マークを合わせ、決定ボタンを押します。

音声を切り換える

■音声を選ぶ

二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。



音声切換	
主音声	↑
副音声	↓
主+副音声	↔

例：二重音声放送を受信しているとき

1度押すと、現在の設定が表示されます。押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は（BS放送*、地上波テレビ放送）：
「主音声」→「副音声」→「主+副音声」→「主音声」→…

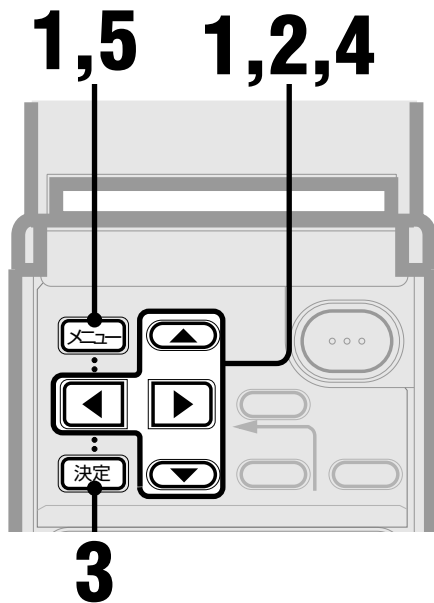
ステレオ放送受信中は（地上波テレビ放送）：
「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…

* AV-32AD2のみ

■BS放送の独立音声を聞く （AV-32AD2のみ）

Aモード音声で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
画面サイズ選択	オートパノラマ			
映像選択	ダイナミック			
おはようタイマー	入り			
おトク設定	選んで設定			
自己紹介（機能説明）	切り			
TV/独立	TV			
BSジャック	切り			

2 カーソルボタン()で「TV/独立」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
画面サイズ選択	オートパノラマ			
映像選択	ダイナミック			
おはようタイマー	入り			
おトク設定	選んで設定			
自己紹介（機能説明）	切り			
TV/独立	TV			
BSジャック	切り			

3 決定ボタン()を押す

4 カーソルボタン()で「独立音声」を選ぶ

TV/独立	↑
テレビ音声	↓
独立音声	↔

5 メニューボタン()を押して終了する

BS有料放送で独立音声を聞くには

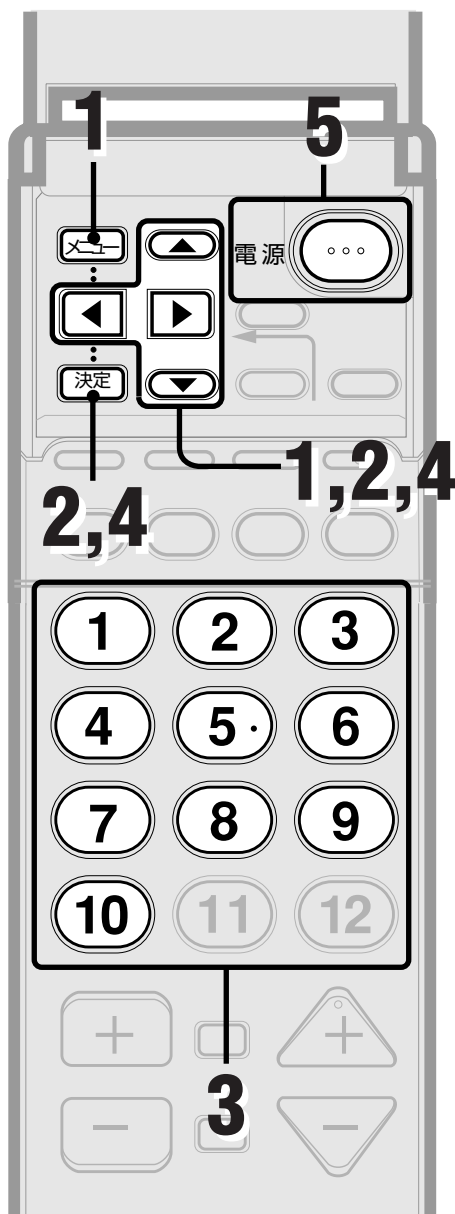
BSデコーダー側で切り換える

BS有料放送で音声を切り換えるには、BSデコーダー側で音声を切り換えてください。

便利な機能
で楽しむ

おはようタイマーを設定する

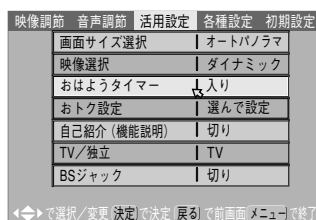
ふたを開けたところ



準備: 57 ページの「時計を設定する」にしたがって、時計の設定をおこなってください。

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

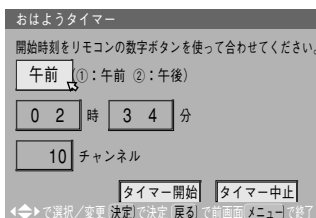
2 カーソルボタン()で「おはようタイマー」を選ぶ




選んでから





3 チャンネル数字ボタンで、時刻を設定する



時間の設定のしかた

- **午前・午後の設定**
リモコンのチャンネル数字ボタンで設定します。午前なら①、午後なら②を押します。
 - **時刻の設定**
リモコンのチャンネル数字ボタンで、現在時刻を入力します。
 - **チャンネルの設定**
リモコンのチャンネル数字ボタンで、チャンネルを指定します。
- 設定をまちがってしまったら
カーソルボタン()で項目を戻すことができます。

4 カーソルボタン()で「タイマー開始」を選び、決定ボタン()を押して終了する

オンタイマーランプが点灯します。

5 リモコンの電源ボタン()を押して電源を切る

設定された時間になると自動的にテレビの電源が入ります。

「おはようタイマー」を止めるには

手順4で「タイマー中止」を選びます。

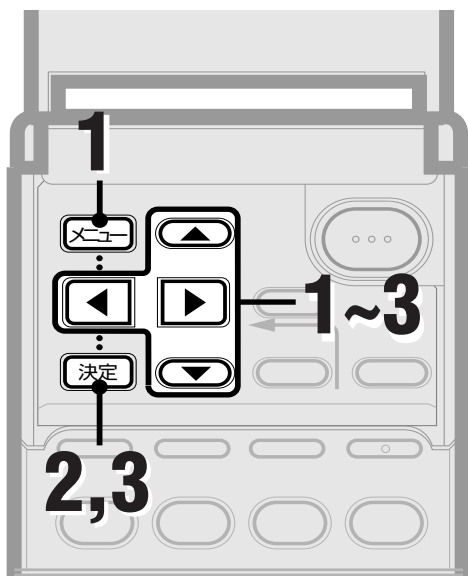
「おはようタイマー」の設定をあとから変えるには

「おはようタイマー」で設定した時刻とチャンネルは記憶されます。設定した時刻とチャンネルを変えるには設定したときと同じように時刻とチャンネルを設定し直してください。

おトク設定

このテレビには3つの節電機能があります。「おトク設定」メニューを使って、すべての節電機能を使うか、選んで使うか、節電機能を使わないかの設定ができます。

ふたを開けたところ



節電機能の種類

おトク機能

デジタルE.E.センサー:

Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+Electronic Eye(電子の目)の略です。

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。

●「明るめ」「標準」「ひかえめ」「切り」を選びます。

無信号電源オートオフ:

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。

●「する」「しない」を選びます。

深夜電源オートオフ:

設定された時間になるとテレビの電源を切って節電する機能です。

●「午前0時」「午前1時」「午前2時」「しない」を選びます。

おトク以外の節電機能

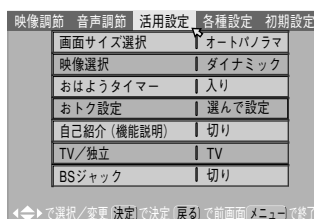
テレビ消し忘れ防止(●P.37):

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

3つの節電機能をすべて使うには

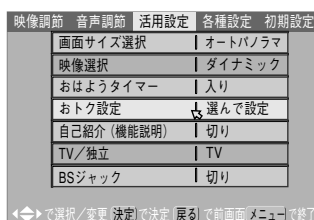
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼)で「おトク設定」を選ぶ

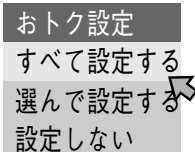


選んでから



3

カーソルボタン(▲▼)で「すべて設定する」を選ぶ



選んでから



画面には設定の内容が数秒間表示されます。

おトク設定 (すべて設定)

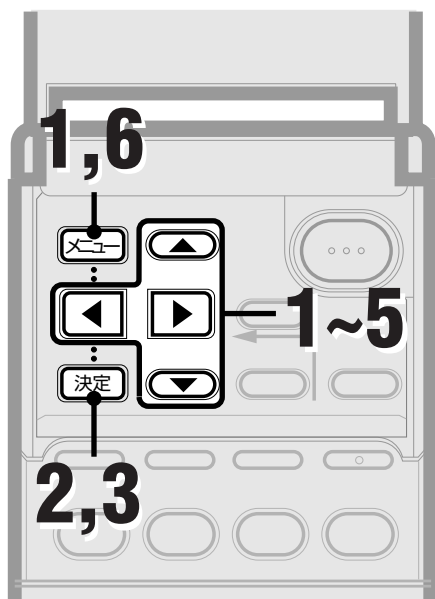
次のように設定しました
デジタルE.E. : 標準
無信号電源オートオフ : する
深夜電源オートオフ : 午前2時

テレビを使い
こなす

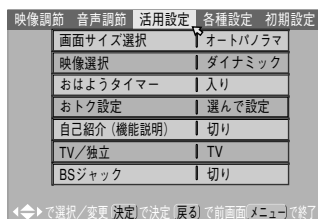
おトク設定 (つづき)

3つの節電機能から選んで使うには

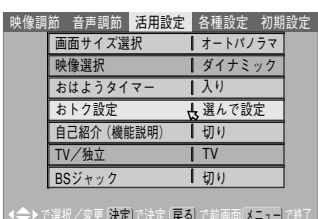
ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ



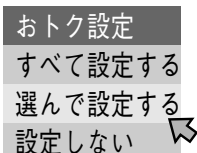
2 カーソルボタン(▲▼)で「おトク設定」を選ぶ



選んでから



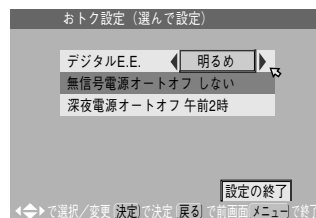
3 カーソルボタン(▲▼)で「選んで設定する」を選ぶ



選んでから



4 カーソルボタン(▲▼◀▶)で必要な項目を設定する



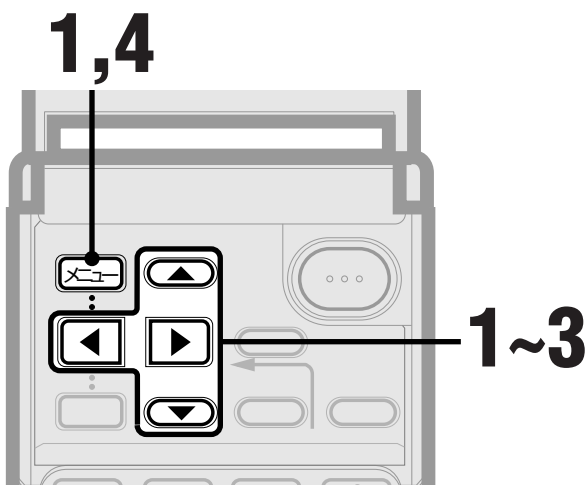
- 1 カーソルボタン(▲▼)で、を設定する機能に合わせる
- 2 カーソルボタン(◀▶)で設定する


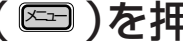
5 カーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ

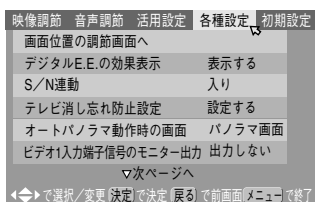
6 メニューボタン()を押して終了する


テレビの消し忘れを防止する

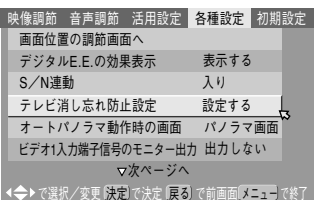
ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン()で「テレビの消し忘れ防止設定」を選ぶ



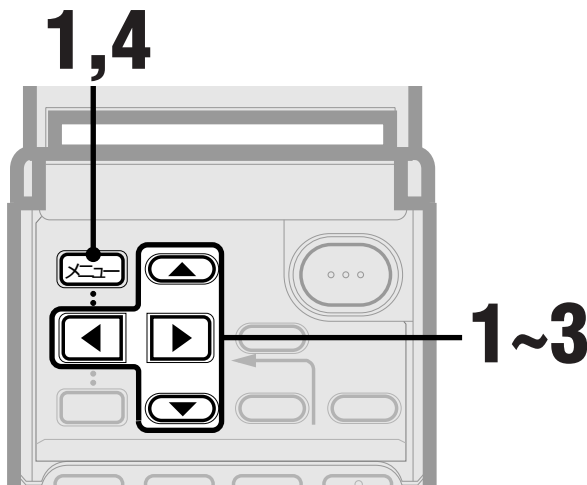
3 カーソルボタン()で設定を選ぶ



- 「設定する」: 何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
- 「設定しない」: この機能を使わないときに選びます。

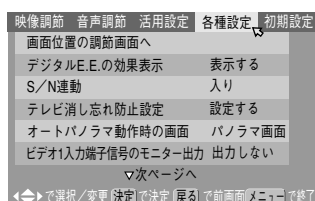
4 メニューボタン()を押して終了する


デジタルE.E.の効果表示をするには

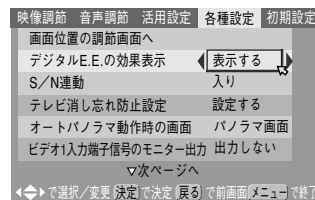
ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ




2 カーソルボタン()で「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ



3 カーソルボタン()で設定を選ぶ

- 「表示する」: 部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。
- 「表示しない」: デジタルE.E.の効果のレベルを表示しないときに選びます。

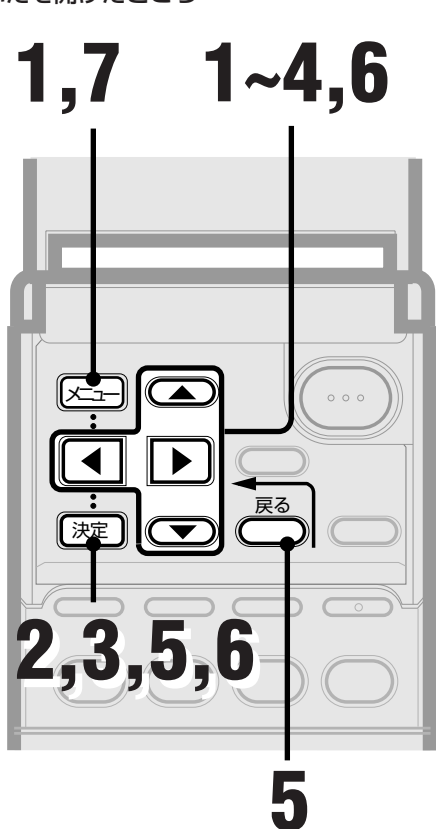
4 メニューボタン()を押して終了する

テレビを使い
こなす

シアタープロの設定

映像選択(☞30ページ)で「シアター」を選択しているときは、さらに細かい映像の調節ができるようになります。通常は標準設定(お買い上げ時の設定)のままで十分な画質になるよう調節されています。シアタープロの設定は、ご覧になる映像によりさらに細かな調節を行いたいお客様向けの機能です。設定できる項目は微妙な調節を行うため専門的な内容になっています。調節を行うときは少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら設定項目の内容を把握されることをお勧めします。

ふたを開けたところ

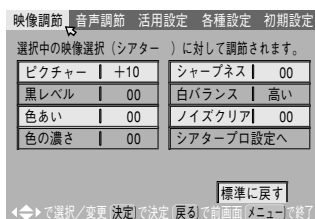


ご注意

映像選択で「スタンダード」または「ダイナミック」、「ゲーム」を選んでいるときは、シアタープロの設定はできません。

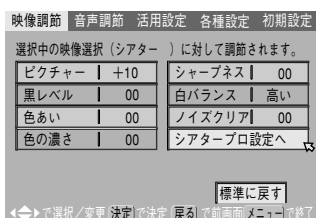
1

メニューボタン(☰)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「映像調節」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼)で「シアタープロ設定へ」を選ぶ

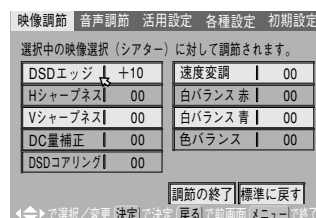


選んでから



3

カーソルボタン(▲▼◀▶)で調節したい項目を選ぶ



選んでから



4

カーソルボタン(◀▶)で調節する

例:「DSDエッジ」を選んだとき



例:「白バランス 赤」を選んだとき



数秒間、操作を行わないと、手順3の画面に戻ります。

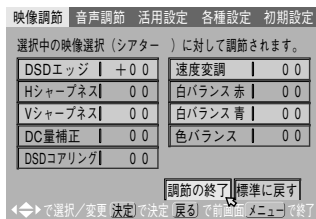
5

他の項目も調節するときには戻るボタン(戻る)または決定ボタン(決定)を押す

シアタープロ設定の画面に戻ります。
手順3~5をくり返して、他の項目を調節する。

6

調節が終わったらカーソルボタン(▲▼◀▶)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



「標準に戻す」を選んで決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

7

メニューボタン(☰)を押して終了する

「シアタープロ」の設定について

- **DSDエッジ:**
文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻(きゅうしゅん)にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
(設定値:輪郭をつけない -30...+30 輪郭をつける)
- **Hシャープネス、Vシャープネス:**
映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。
(設定値:輪郭を強調しない -30...+30 輪郭を強調する)
- **DC量補正:**
全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。
「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。
(設定値:黒味を増やす -30...+30 黒味を減らす)
- **DSDコアリング:**
画面のざらざら感(ノイズ)を抑えるため、原因となる微小信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに+側に調節します。
(設定値:あまりノイズを除去しない -5...+5 よりノイズを除去する)
- **速度変調:**
映像の縦線の輪郭強度度を調節します。
通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままでお使いください。
忠実な映像では、シャッキリ感が不足していると感じたときに、ほんのちょっと補正してください。
(設定値:補正しない 0...+15 補正する)
- **白バランス 赤、白バランス 青:**
映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。
調節するときには「白バランス 赤」と「白バランス 青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。
(設定値:赤みをつけない -30...+30 赤みをつける)
(設定値:青みをつけない -30...+30 青みをつける)
- **色バランス:**
肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。
(設定値:青みを弱くする -5...+5 青みを強くする)

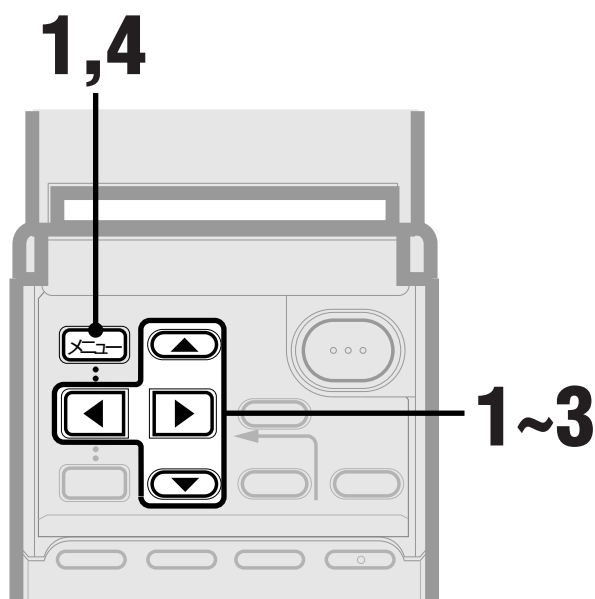
テレビを使いこなす



本来の解像度で表示する


ノイズを抑えた見やすい映像でご覧いただけます。通常は、「S/N連動」を「入り」にしてご使用ください。

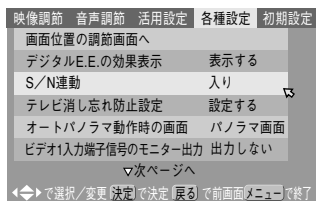
ノイズよりも、解像度を優先したい場合は、「切り」に設定してください。

ふたを開けたところ




1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で「S/N連動」を選ぶ



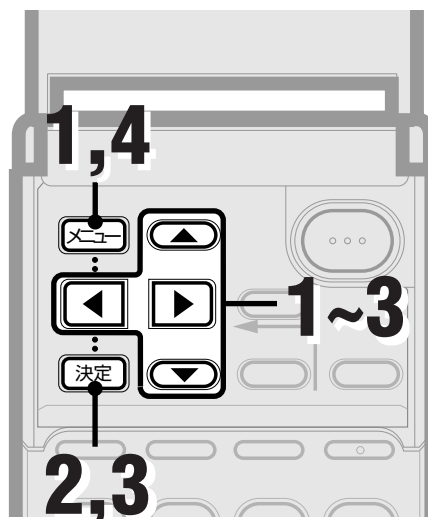
3 カーソル()で「入り」または「切り」を選ぶ



4 メニューボタン()を押して終了する


画面の傾きを調節する

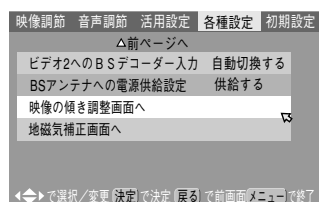
地磁気による画面の傾きを調節します。地磁気の影響を受けると画面が傾くことがあります。このようなときに調節します。

ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で2ページ目の「映像の傾き調整画面へ」を選ぶ



選んでから




3 カーソル()で傾きを調節する



終わったら

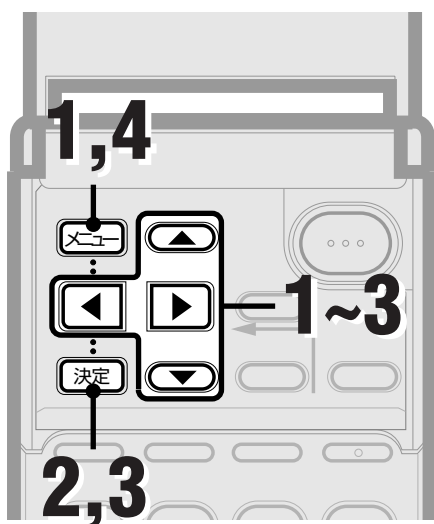




4 メニューボタン()を押して終了する


地磁気補正

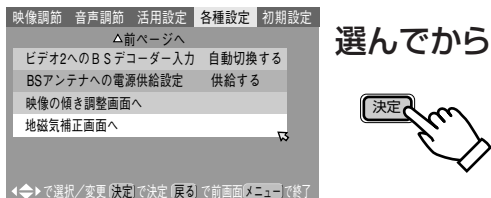
地磁気による色むらを軽減します。地磁気の影響を受けると画面に紫や緑の色がつくことがあります。このようなときは、色むらが少なくなるように補正してください。

ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で2ページ目の「地磁気補正画面へ」を選ぶ



3 カーソル()で色むらを調節する
終わったら



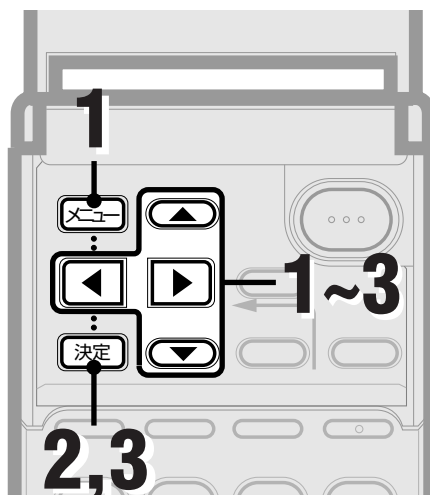
● 画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。



4 メニューボタン()を押して終了する

自己紹介機能を使うには

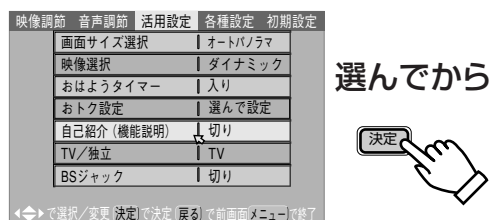
本機には自己紹介機能があります。本機の持っている機能を自動的に紹介してくれる機能です。

ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で「自己紹介(機能説明)」を選ぶ



3 カーソル()で「入り」を選ぶ

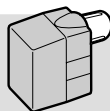


- 画面では自己紹介が始まります。
- 自己紹介機能を止めるには、もう1度手順1から3を行って「切り」を選びます。画面には「自己紹介(機能説明)を中止しました」と表示されます。

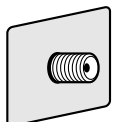
テレビを使い
こなす

VHF / UHFアンテナをつなぐ

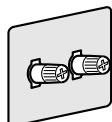
まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。
一番近い例を選んで、接続してください。



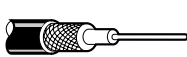
壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類



同軸ケーブル用端子



フィーダー線用端子



同軸ケーブル



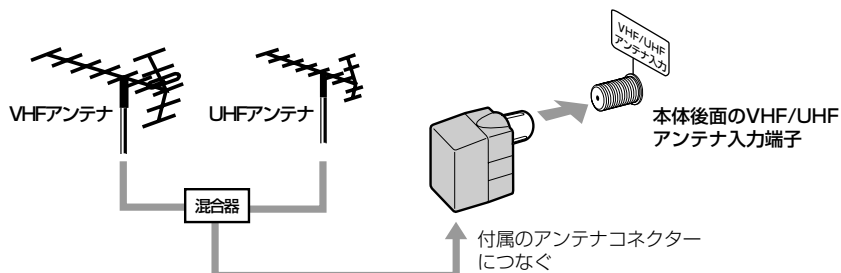
フィーダー線



F型コネクター

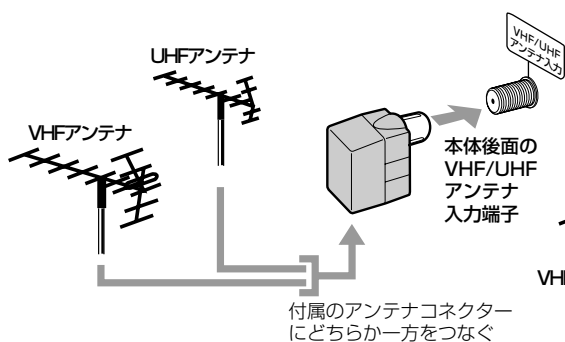
※壁面アンテナ端子にF型コネクターが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

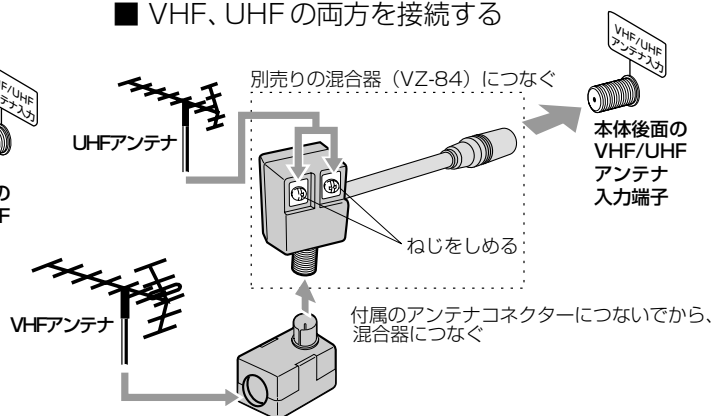


VHFとUHFが別々になっているとき

■ VHF、UHF のどちらか一方を接続する

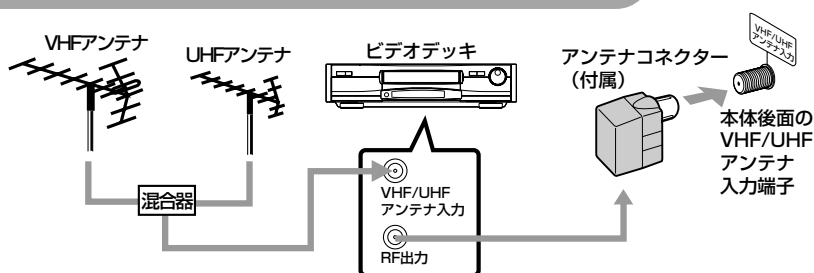


■ VHF、UHF の両方を接続する



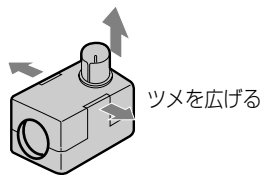
ビデオデッキを接続するとき

アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのRF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。

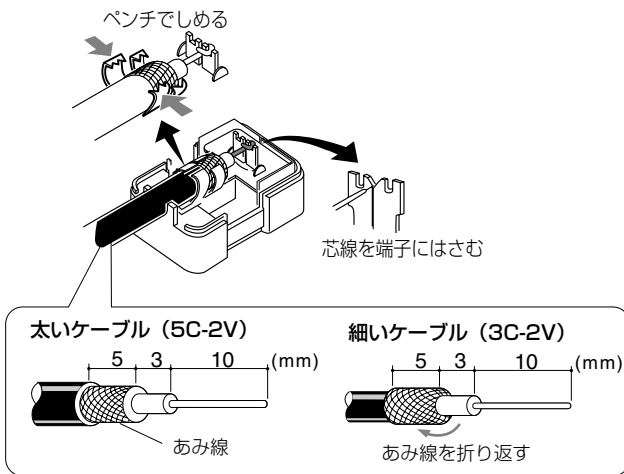


■コネクタのつなぎかた

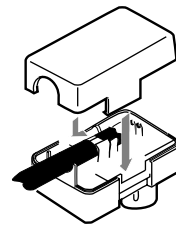
1 カバーを開ける



2 ケーブルをつなぐ



3 カバーをつける



アンテナの
接続と設定

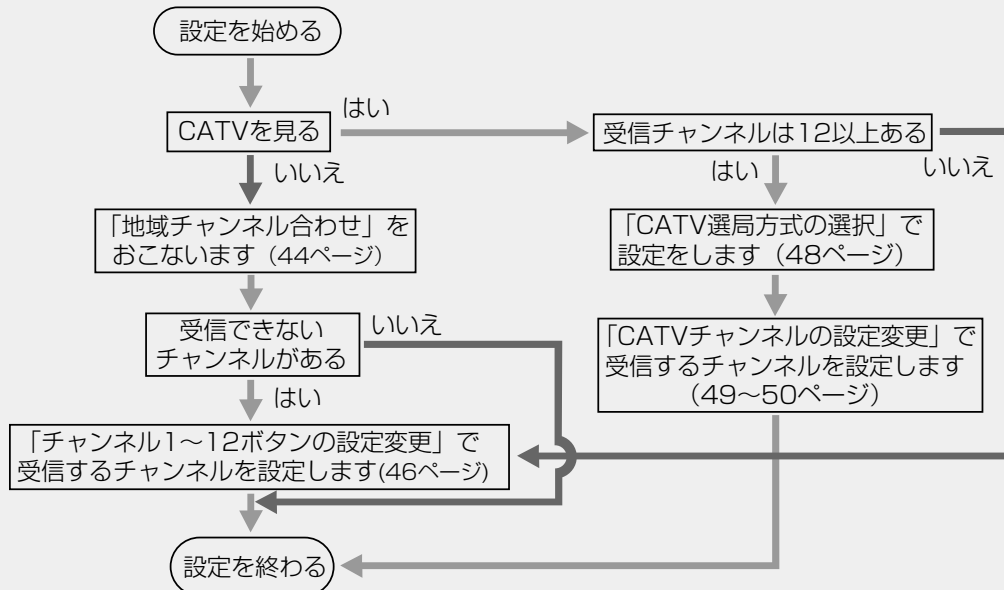
アンテナをつなぐときは

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。

チャンネルを合わせる

■チャンネル設定の手順

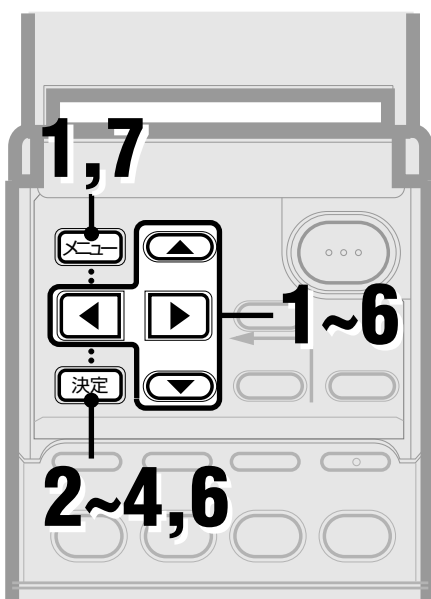
このテレビはお買い上げ時、VHFの1～12チャンネルが映るように設定されています。そのままではテレビが映らない場合は、下記の手順でチャンネルの設定をおこなってください。



■地域の放送局を一括して設定する

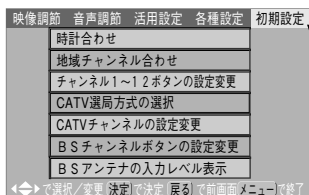
お住まいの地域を選んで、放送局を一括して登録することができます。

ふたを開けたところ



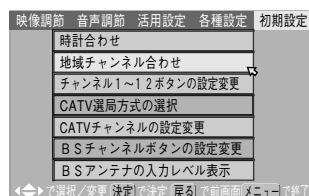
1

メニューボタン(☰)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼)で「地域チャンネル合わせ」を選ぶ

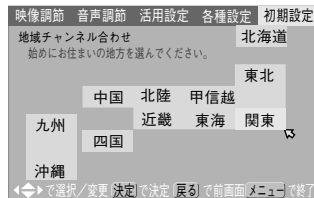


選んでから



3

カーソルボタン(◀▶▲▼)でお住まいの地方を選ぶ

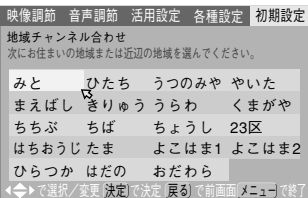


選んでから



4

カーソルボタン(◀▶▲▼)でお住まいの都市を選ぶ

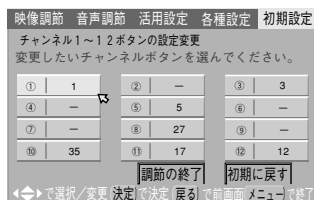


選んでから



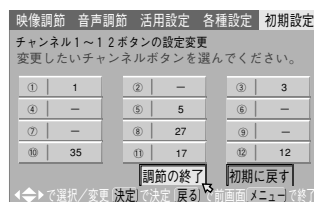
5

カーソルボタン(◀▶▲▼)で各チャンネルが受信できることを確認する



6

「地域チャンネル合わせ」が終わったら、カーソルボタン(▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



7

メニューボタン(☰)を押して終了する

お住まいの地域名がないとき

●最も近い地域を選ぶ

近県または近隣の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行っててください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。(P.46)

設定の操作を中止するには

●戻るボタンで中止できます

ひとつ前の画面に戻ります。

八王子・横浜市にお住まいの方は

●八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは「23区」に設定してください。

●横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

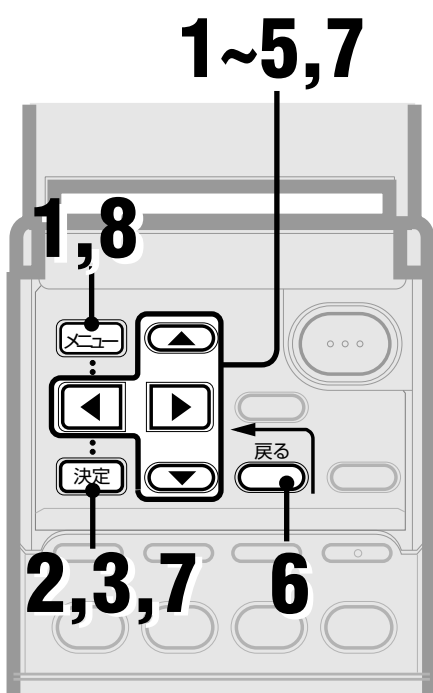
チャンネルを合わせる(つづき)

■放送局を個別に設定する

「地域チャンネル合わせ」で設定できないときに個別に設定します。

空いているチャンネルにCATVチャンネルを割り当てたり、受信状態が悪い放送局を受信できないようにするなどの設定ができます。

ふたを開けたところ

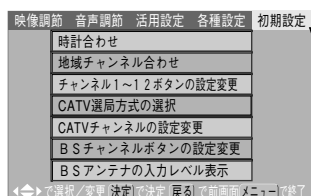


設定の操作を中止するには

- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

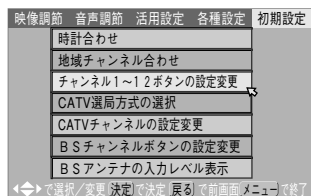
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「チャンネル1～12ボタンの設定変更」を選ぶ

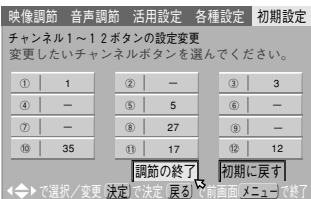


選んでから



3

カーソルボタン()で設定したいリモコンチャンネルボタンを選ぶ

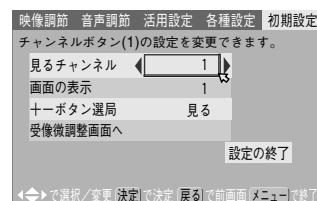


選んでから



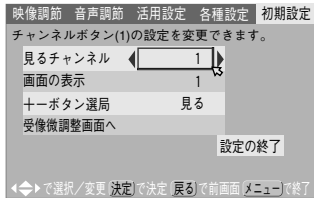
4

カーソルボタン()で項目を選ぶ



5

カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する



- 受像微調整を行うするには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。



チャンネル設定の項目について

- 見るチャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(1~12:VHF放送、13~62:UHF放送、C13~C38:CATV放送)
- 画面の表示
テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。
- 十一ボタン選局
チャンネル十一ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。
- 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

6

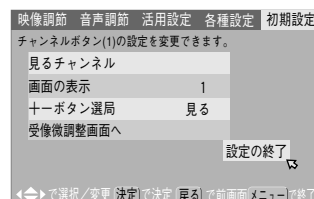
戻るボタン(戻る)を押す

「チャンネル1~12ボタンの設定変更」画面に戻ります。

- 他のチャンネルボタンの設定を変えるには
手順3~6をくり返して調整します。

7

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



8

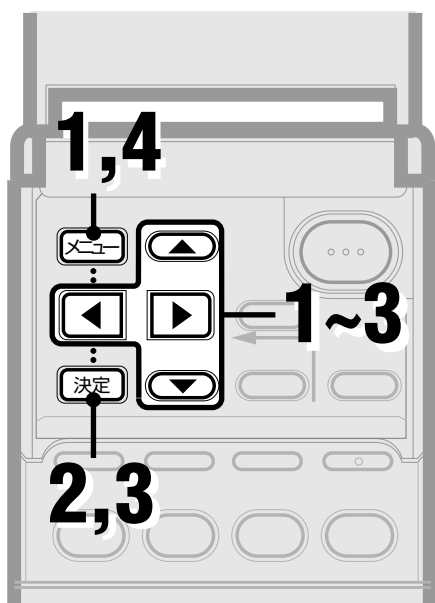
メニューボタン(☰)を押して終了する

チャンネルを合わせる(つづき)

■CATVチャンネルを直接選ぶ

CATVチャンネルのチャンネル番号をチャンネル数字ボタンで直接入力して選局することができます。

ふたを開けたところ



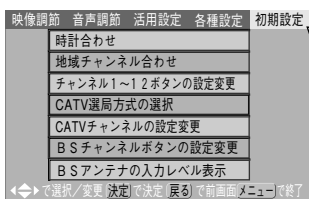
CATVについて

CATV（ケーブルテレビ）はサービスの行われている地域でだけ受信できます。CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

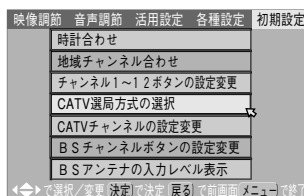
CATVを見るには

- 1 CATV会社と受信契約をする
詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- 2 CATVケーブルを接続する
ケーブルのつながりかたはCATV各社にお問い合わせください。
- 3 CATVのチャンネル合わせをする

- 1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ



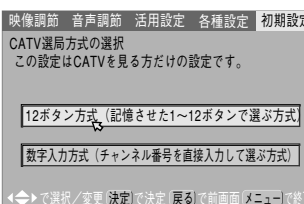
- 2 カーソルボタン()で「CATV選局方式の選択」を選ぶ



選んでから



- 3 カーソルボタン()で「数字入力方式」を選ぶ



選んでから



- 4 メニューボタン()を押して終了する

チャンネルの選びかた

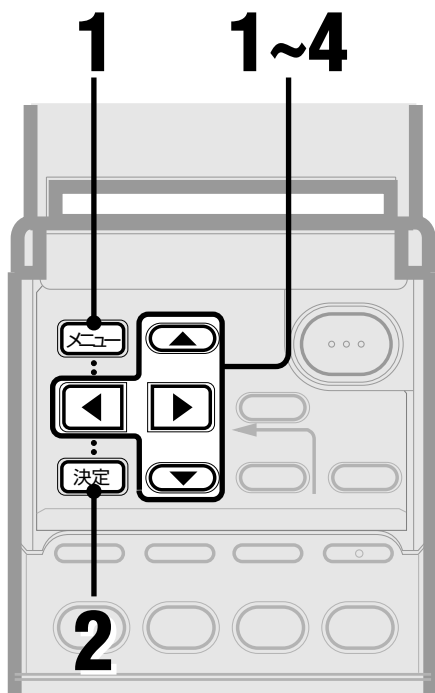
- 見たいチャンネルを2桁の数字で選ぶ
「数字入力方式」を設定したときは、VHFやUHF、CATVチャンネルを受信するのに直接数字で選局します。
例：VHFの1チャンネルを選局するときは、0(10)、1と押します。

例：VHFの12チャンネルを選局するときは、1、2と押します。
例：CATVのチャンネル34を選局するときは、3、4と押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには
リモコンの1~12ボタンで選局できるように戻すには、手順3で「12ボタン方式」を選びます。

■CATVチャンネルを設定する

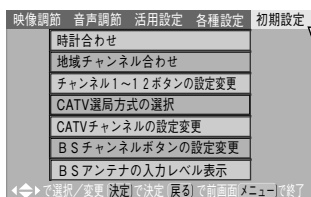
CATVチャンネルを選局するのに「数字入力方式」を設定したら、受信するCATVチャンネルの設定を行います。

ふたを開けたところ



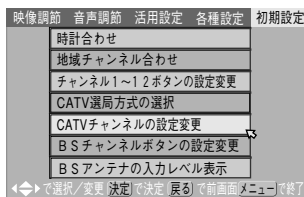
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「CATVチャンネルの設定変更」を選ぶ

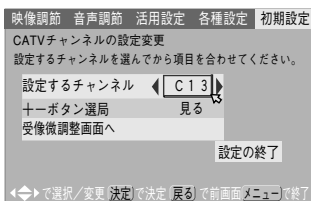


選んでから



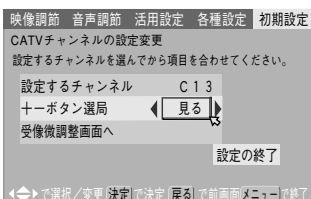
3

カーソルボタン()で「設定するチャンネル」を選ぶ



4

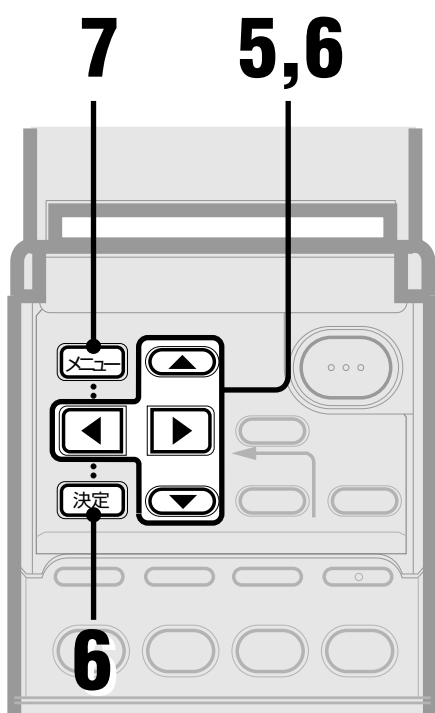
カーソルボタン()で項目を選ぶ



アンテナの
接続と設定

チャンネルを合わせる(つづき)

ふたを開けたところ

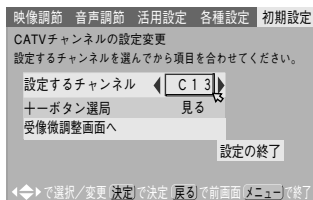


設定の操作を中止するには

- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

5

カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する



- 受像微調整を行うには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。

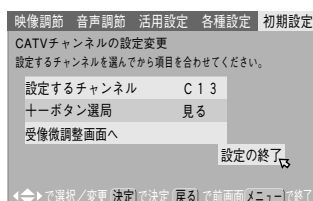


CATVチャンネル設定の項目について

- 設定チャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(C13～C38:CATV放送)
- 十一ボタン選局
チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。
- 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。
- 他のCATVチャンネルの設定を変えるには
手順3～5をくり返して調整します。

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



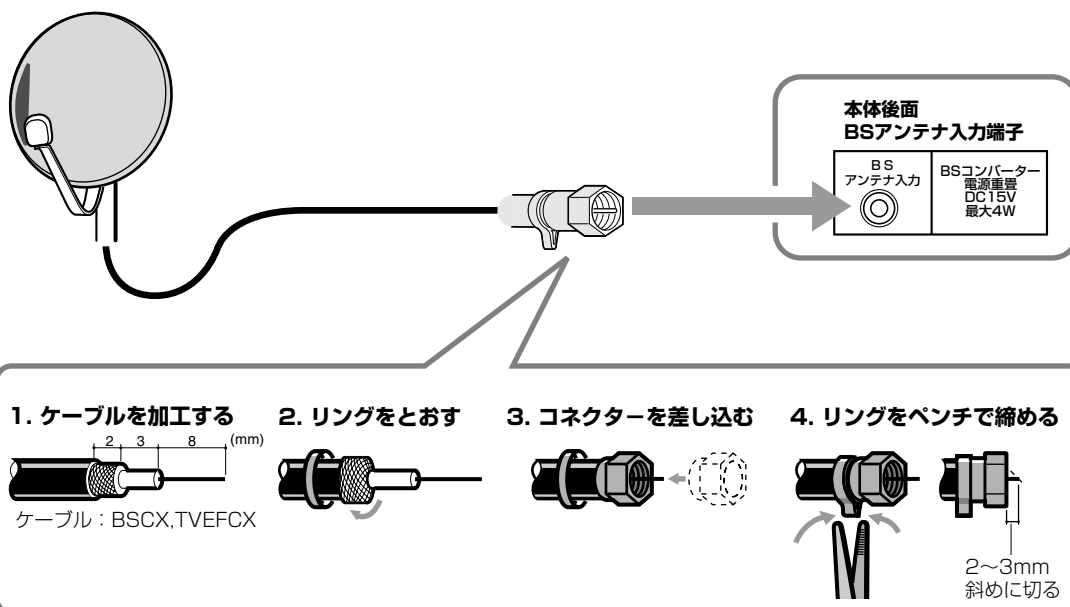
7

メニューボタン(☰)を押して終了する

BSアンテナをつなぐ (AV-32AD2のみ)

BSアンテナ (コンバーター付) をつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。

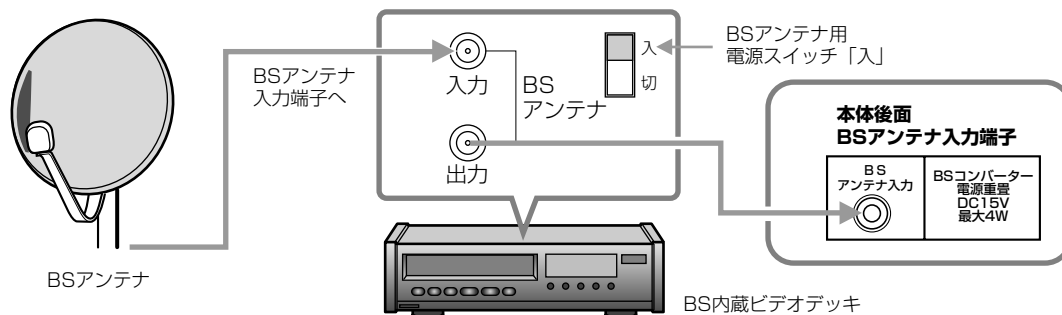
BSアンテナを接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 1 メニューの「各種設定」の「BS アンテナへの電源供給設定」を設定する。(P.53)
- 2 メニューの「初期設定」の「BS アンテナの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.54)
- 3 必要ならば、メニューの「初期設定」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(P.55)

BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき

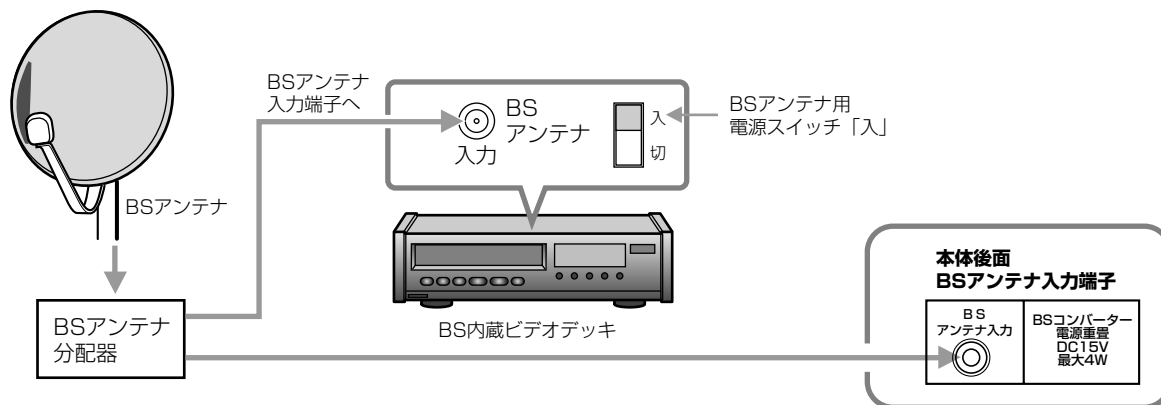


接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 1 メニューの「各種設定」で「BSアンテナへの電源供給設定」を「供給しない」にする。(P.53)
- 2 メニューの「初期設定」の「BS アンテナの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.54)
- 3 必要ならば、メニューの「初期設定」で「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(P.55)

BSアンテナをつなぐ(AV-32AD2のみ)(つづき)

BS内蔵のビデオデッキ (BSアンテナ出力端子なし) も一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 1 メニューの「各種設定」で「BS アンテナへの電源供給設定」を設定する。(P.53)
 - BS アンテナ分配器が両通電のとき: 「供給する」にする。
このときは、本機またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
 - BS アンテナ分配器が片通電のとき: 「供給しない」にする。
このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
- 2 メニューの「初期設定」の「BS アンテナの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.54)
- 3 必要ならば、メニューの「初期設定」の「BS チャンネルボタンの設定変更」で、BS チャンネルの設定を変更する。(P.55)

アナログBS(衛星)放送について

日本の南西、赤道上空約36,000kmにある衛星放送を経由してテレビ電波を受信するシステムです。2001年5月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。

BS5チャンネルはJSB(日本衛星放送株式会社)がWOWOWを、SDAB(衛星デジタル音楽放送株式会社)がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。

BS9チャンネルでは、ハイビジョンを放送していますが、このテレビでは受信できません。

BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているとき

- お住まいのマンション、集合住宅などで、共聴システムをお使いのときには分波器が必要です。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

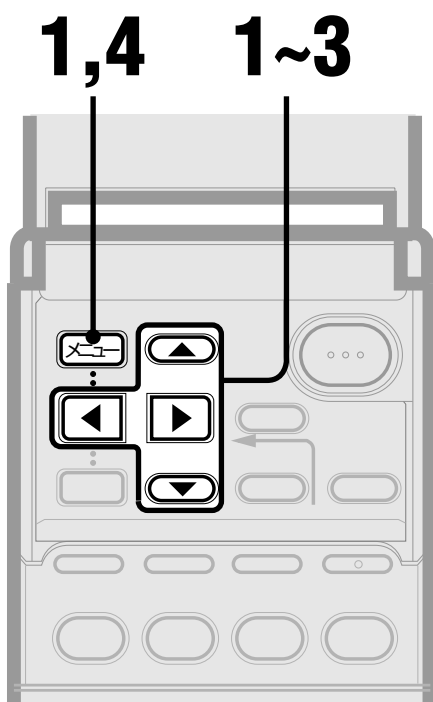
BSの設定をする (AV-32AD2のみ)



■BSアンテナに電源を供給する

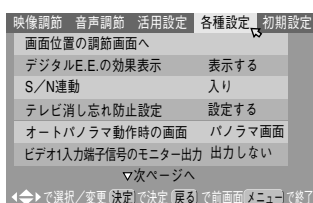
本機はBSアンテナに電源を供給できるようになっています。


メニューの「各種設定」でBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定ができます。

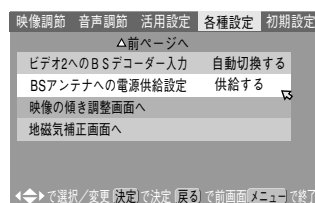
ふたを開けたところ



- 1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン()で2ページ目の「BSアンテナへの電源供給設定」を選ぶ



- 3 カーソルボタン()で設定を変更する

BSアンテナへの電源供給設定について

- 供給しない
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給しません。
マンションなどの共聴アンテナなどをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。
- 供給する
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給します。
ただし、本機の電源を切ったときには、電源は供給されません。
(リモコンの電源ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。)

- 4 メニューボタン()を押して終了する

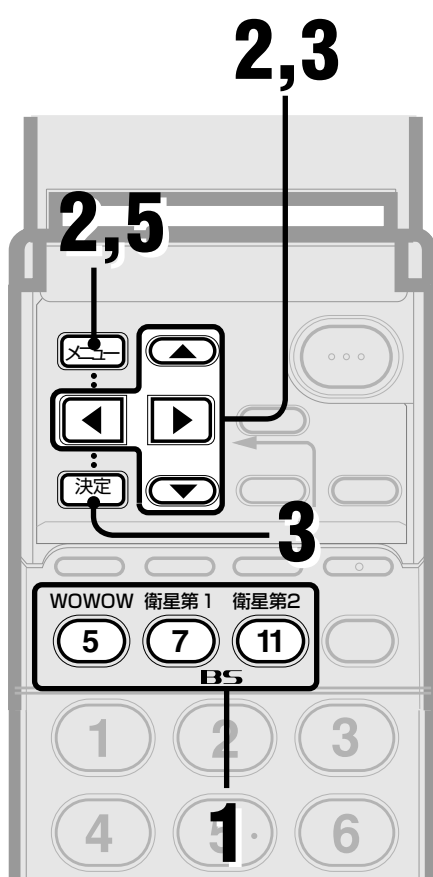
アンテナの
接続と
設定

BSの設定をする (AV-32AD2のみ) (つづき)

■BSアンテナの向きを調節する

本機はBSアンテナの向きを調節するとき、参考になるよう入力レベルを表示することができます。

ふたを開けたところ






アンテナ入力レベルについて

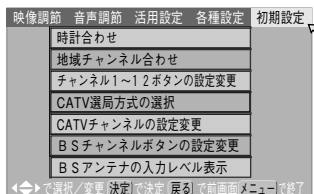
- BSアンテナの入力レベル表示の数値はめやすです。数値が大きくなっても受信できていれば問題はありません。

1

BS放送のチャンネルを選ぶ

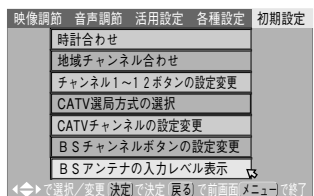
2

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン( )で「初期設定」を選ぶ



3

カーソルボタン( )で「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぶ



選んでから



4


画面を見ながらBSアンテナの向きを調節する

画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」に近づくよう向きを調節します。


BSアンテナの入力レベル表示

入力レベルが最大レベルになるように、アンテナの向きを調節してください。

入力レベル	最大レベル
20	20

設定の終了 

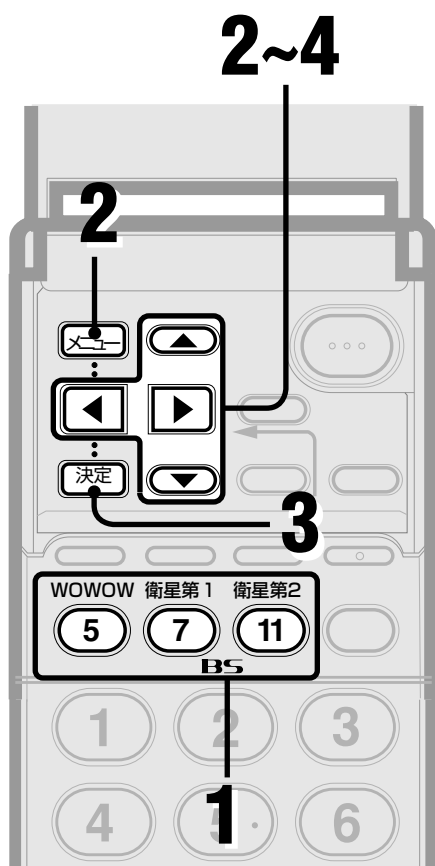
5

メニューボタン()を押して終了する

■BSチャンネルの設定を変更する

アナログBS放送のチャンネルの画面表示とチャンネルのスキップを設定します。
通常は設定を変更する必要はありません。

ふたを開けたところ



衛星第1	BS 7
衛星第2	BS 11
WOWOW	BS 5

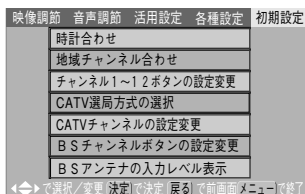
2001年5月現在

1

BS放送のチャンネルを選ぶ

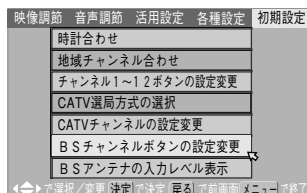
2

メニューボタン(☰)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



3

カーソルボタン(▲▼)で「BSチャンネルボタンの設定変更」を選ぶ



選んでから



4

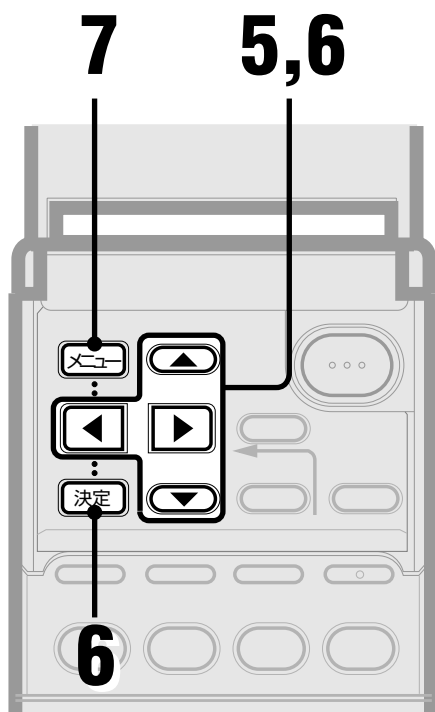
カーソルボタン(▲▼)で項目を選ぶ

→次のページに続く

アンテナの
接続と設定

BSの設定をする (AV-32AD2のみ) (つづき)

ふたを開けたところ

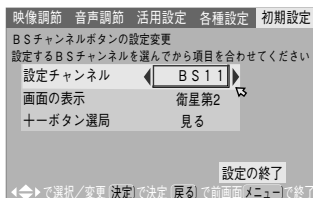


ハイビジョン放送は受信できません

画面表示に「ハイビジョン」の表示がありますが、このテレビではハイビジョン放送を受信することはできません。

5

カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する

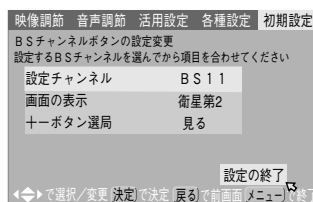


BSチャンネルボタンの設定について

- **設定チャンネル**
受信するチャンネルの番号を選びます。(BS1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15)
- **画面の表示**
テレビ画面の表示を選びます。
(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)
- **十一ボタン選局**
チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。
放送していないチャンネル(BS1, 3, 13, 15)や受信できないチャンネル(BS9)は、「見ない」にします。
- **他のBSチャンネルボタンの設定を変えるには**
手順4~5をくり返して、調整する。

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



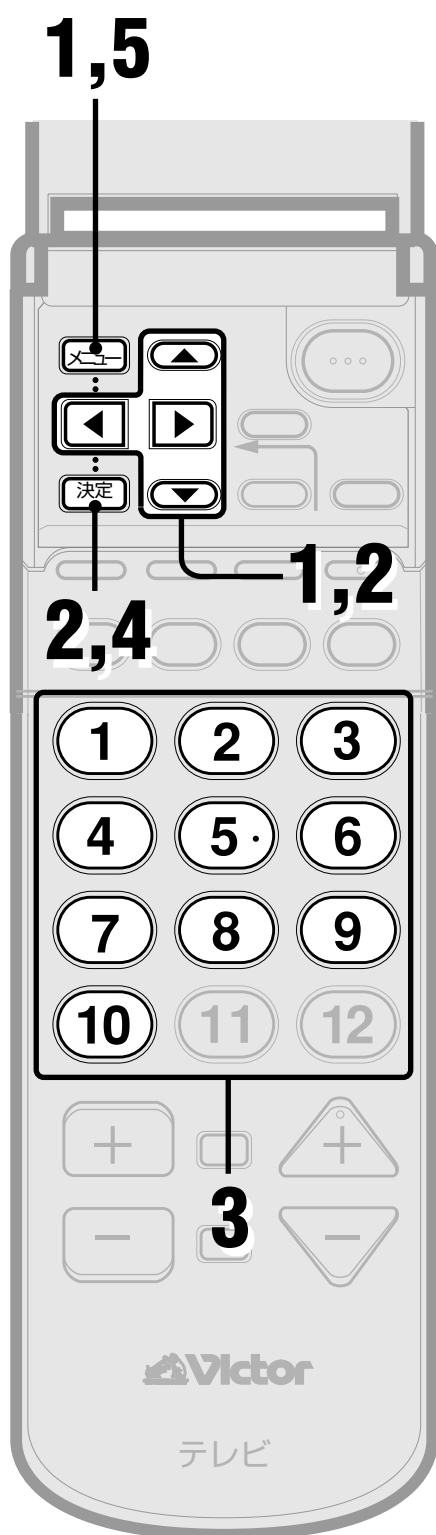
7

メニューボタン(☰)を押して終了する

時計を設定する

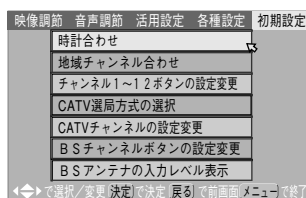
本機は時計機能を内蔵しています。お買い上げになったら、お使いの前に必ず時計の設定を行ってください。時計の設定をしていないと「おはようタイマー」などの機能が使えません。

ふたを開けたところ



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ

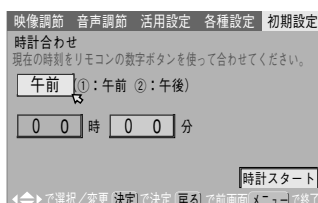
2 カーソルボタン()で「時計合わせ」を選ぶ



選んでから



3 チャンネル数字ボタンで時刻を設定する



時間設定について

- 午前・午後の設定
リモコンのチャンネル数字ボタンで設定します。
午前なら①、午後なら②を押します。
- 時刻の設定
リモコンのチャンネル数字ボタンで、現在時刻を入力します。

4 時報などに合わせて、決定ボタン()を押す

時計が動き始めます。

5 メニューボタン()を押して終了する

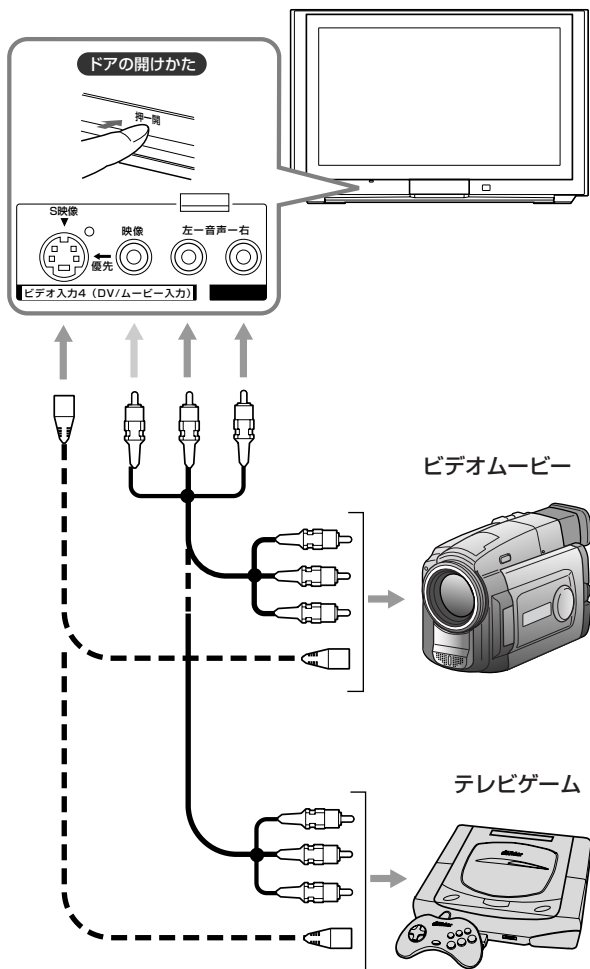
アンテナの
接続と設定

AV 機器を接続する

AV 機器を接続するには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧下さい。

ビデオムービー/テレビゲームを接続する

本体前面



- ビデオムービーやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、ビデオムービーやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
- S映像出力があるときは、S映像コードで接続することをおすすめします。映像コードも接続されているときにはS映像が優先されます。

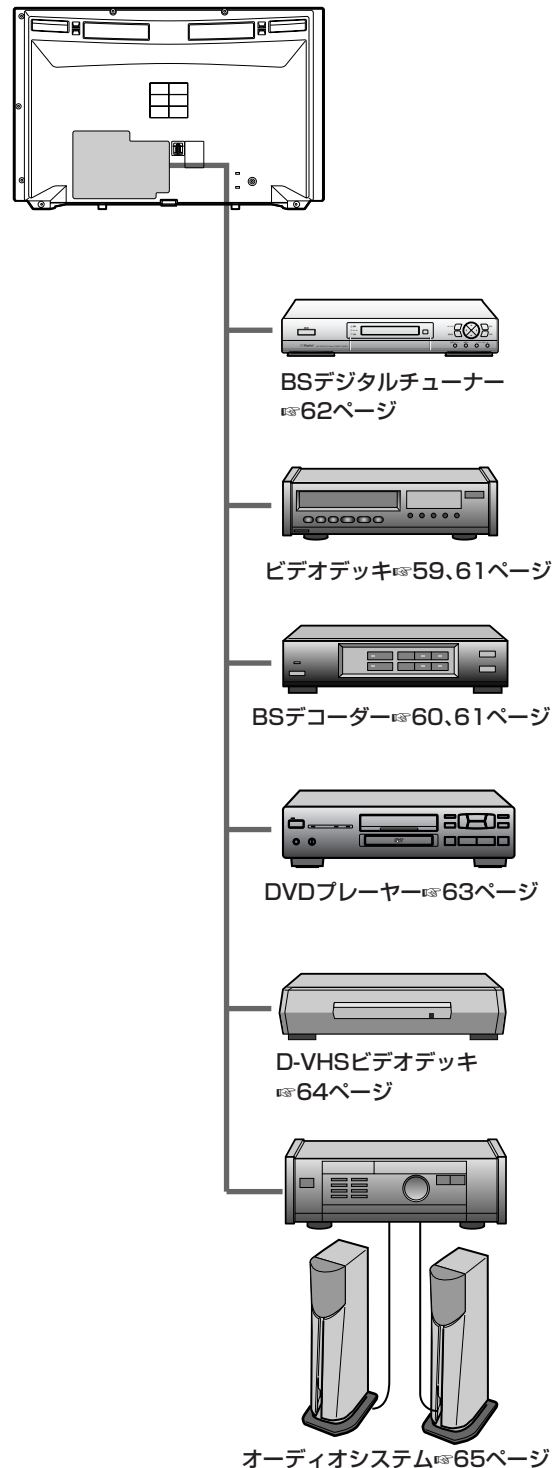
ビデオムービーやテレビゲームを楽しむには

「ビデオ4」に切り換わるまで入力切換ボタンを何回か押す
画面右上に入力切換の表示がされます。

入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

接続できる機器

本体後面



- MUSEデコーダーは接続できません。

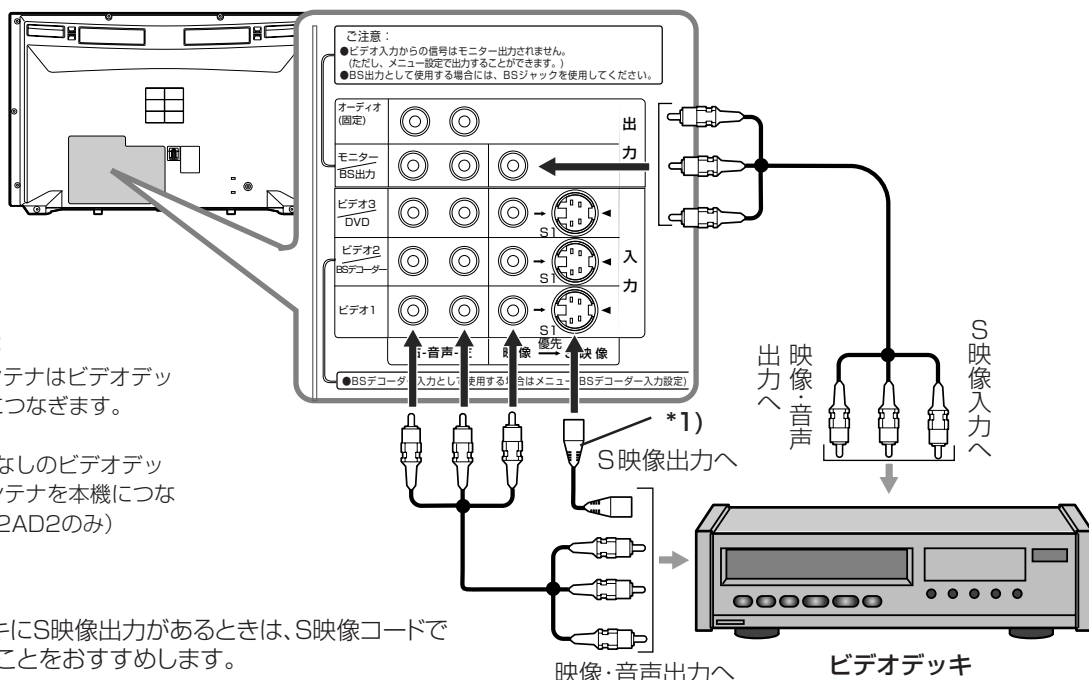
ビデオデッキ

を接続する

ビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

イラストはAV-32AD2
のものです。

本体後面



アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につながります。(P.42)
- BSチューナーなしのビデオデッキでは、BSアンテナを本機につながります。(AV-32AD2のみ) (P.51)

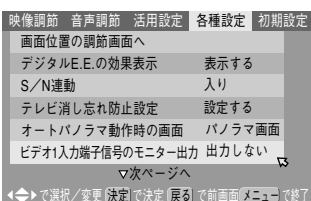
*1) ビデオデッキにS映像出力があるときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押して「ビデオ1」を選ぶ

ビデオ1を選んだとき、映像(単色)が周期的にみだれるときは

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選ぶ



- 4 メニューボタン(☰)を押して終了する

BS放送を録画するには(AV-32AD2のみ)

BSチューナー内蔵のビデオデッキをお使いのときは、ビデオデッキ側の操作で録画できます。(この操作は必要ありません)

- 1 録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 ビデオデッキの入力を切り換え、本機からの入力を録画できるようにする
- 3 ビデオデッキで録画の操作をする

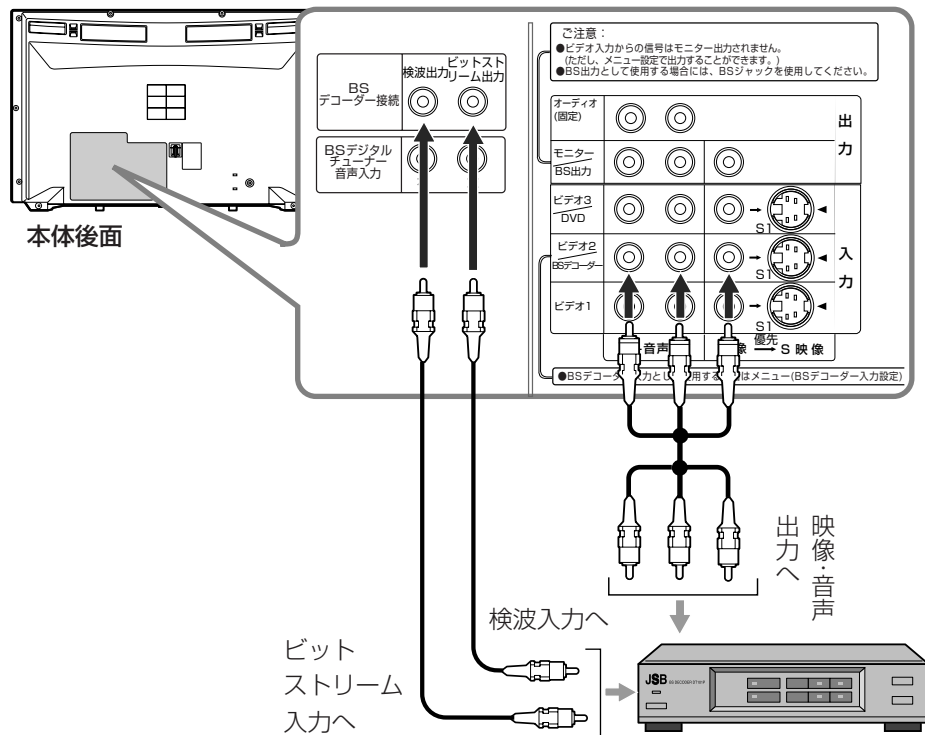
- ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

録画中にBSチャンネルが切り換わらないようにするには

- 1 録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 メニューでBSジャックを「入り(固定)」にする(P.29)
 - 本体表示窓のBSジャックランプが点灯します。
 - 録画が終わったら、メニューでBSジャックを「切り」にする。(P.29)
 - BSジャックが「入り(固定)」のときは、BSチャンネルを変えることはできません。VHF/UHFを見たり、ビデオ入力を見ることができます。
 - BS放送を録画しながらテレビを見る(P.29)もお読みください。

BS デコーダー

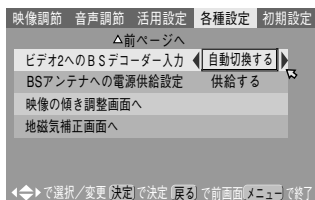
を接続する(AV-32AD2のみ)



接続後に次の設定をしてください

ビデオ2端子をBSデコーダーで使えるようにするには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「自動切換する」を選ぶ



設定について

- 「自動切換する」 : BSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「常に使用する」 : BSデコーダーで独立音声を選んでもSt.GIGA放送が聞けないなど、BSデコーダー入力として固定したいときに選びます。
- 「使用しない」 : ビデオ2入力端子として使うときに選びます。

- 4 メニューボタンを押して終了する

基本操作

WOWOWを見るときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
 - 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

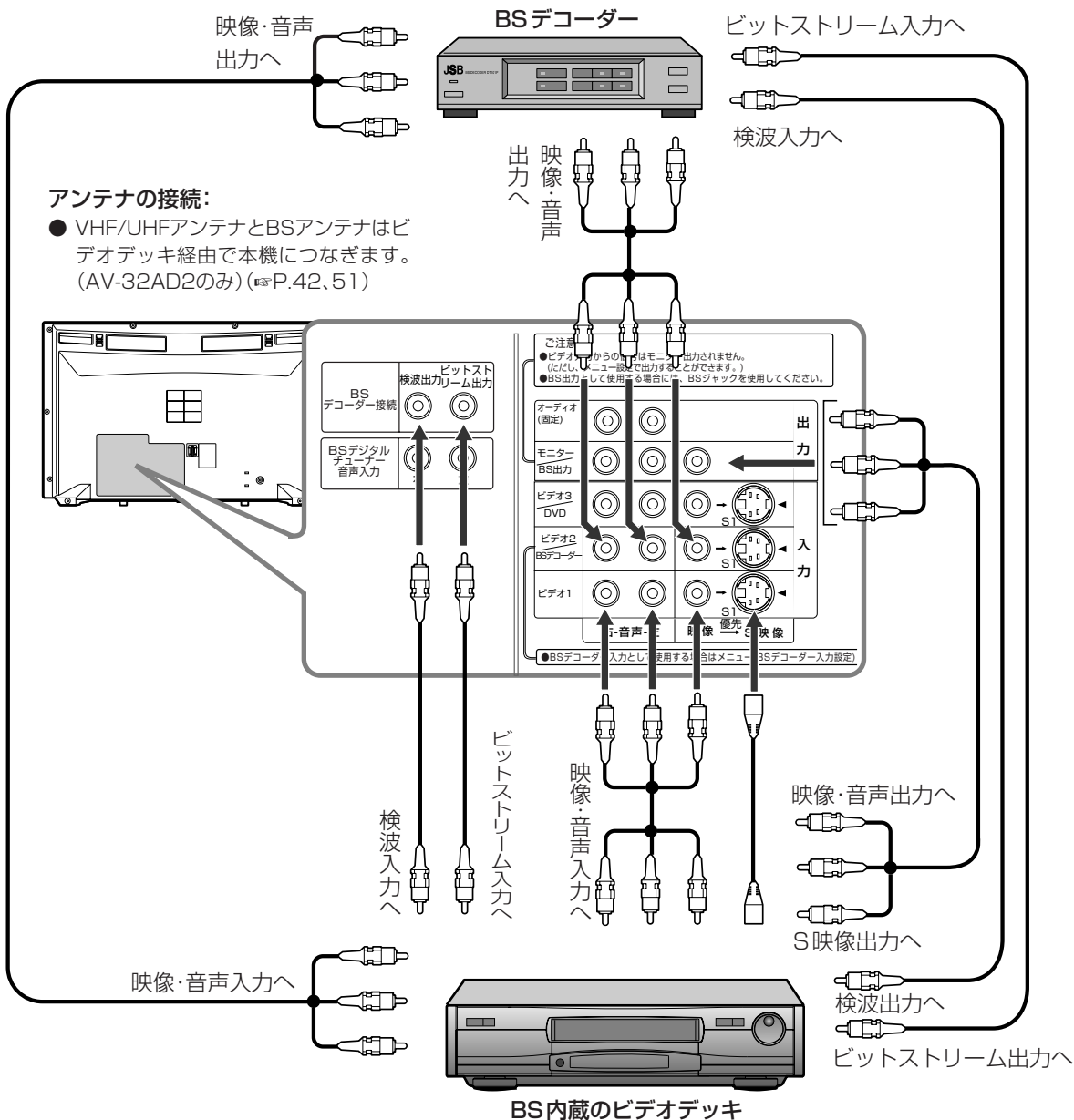
St. GIGAを聞くときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
 - BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声は聞けないときは、メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」に設定してください。

BSデコーダー とBS内蔵 ビデオデッキ

を接続する(AV-32AD2のみ)

接続するビデオデッキに外部BS入力端子(機種により名前が異なることがあります)がないときは、59ページの方法で接続してください。



接続後に次の設定をしてください

- メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」にする。(P.60)
- メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(P.59)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押して、「ビデオ1」を選びます。

WOWOWを見るときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
 - 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

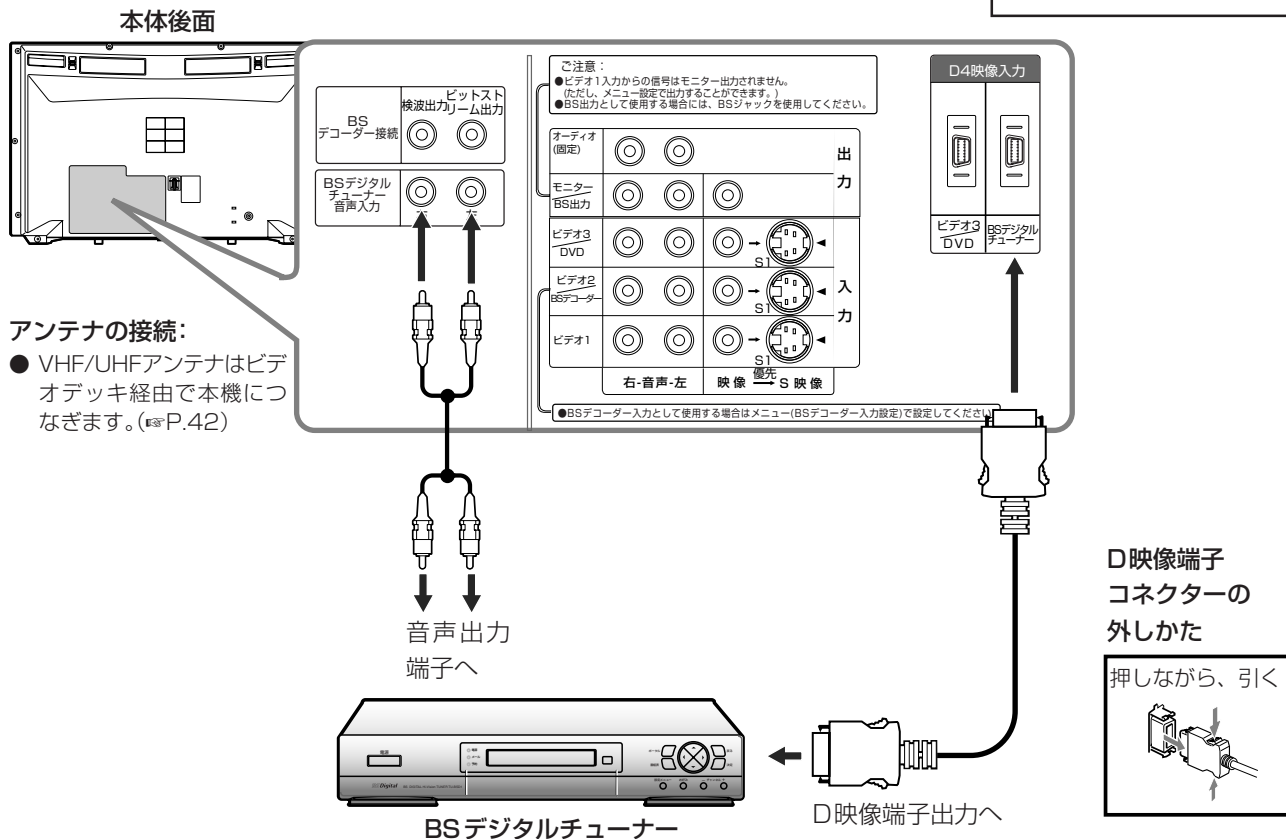
St. GIGAを聞くときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
 - BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声は聞けないときは、メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」に設定してください。

BS デジタル チューナー

を接続する

イラストはAV-32AD2
のものです。



BSデジタル放送を見るには

- 1 BSデジタルチューナーの電源を入れる
- 2 入力切換ボタンを押して「BSデジタル」を選ぶ

- BSデジタルチューナー入力(「BSデジタル」)はD4映像端子専用の入力端子です。D映像端子が接続されていないと選ぶことはできません。

- 3 BSデジタルチューナー側でチャンネルを選ぶ

- 本機はD4映像入力から750p信号が入力されると、525p信号に変換して表示します。

画面サイズについて

- ハイビジョン(1125i、750p)の映像信号を受信したとき画面サイズは自動的に「フル」になります。
- プログレッシブ(525p)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。
 - ・16:9の映像の場合:「フル」になります。
 - ・劇場サイズの映像の場合:「シネマ」になります。
 - ・通常の4:3の映像の場合:「ノーマル」になります。
 画面サイズが自動的に切り換った後で、オートパノラマ以外のの中から、好きな画面サイズを選ぶことができます。
- 標準(525i)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。
 - ・16:9の映像の場合:「フル」になります。
 - ・劇場サイズの映像の場合:「シネマ」になります。
 - ・通常の4:3の映像の場合:「設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。
 画面サイズが自動的に切り換った後で、好きな画面サイズを選ぶことができます。

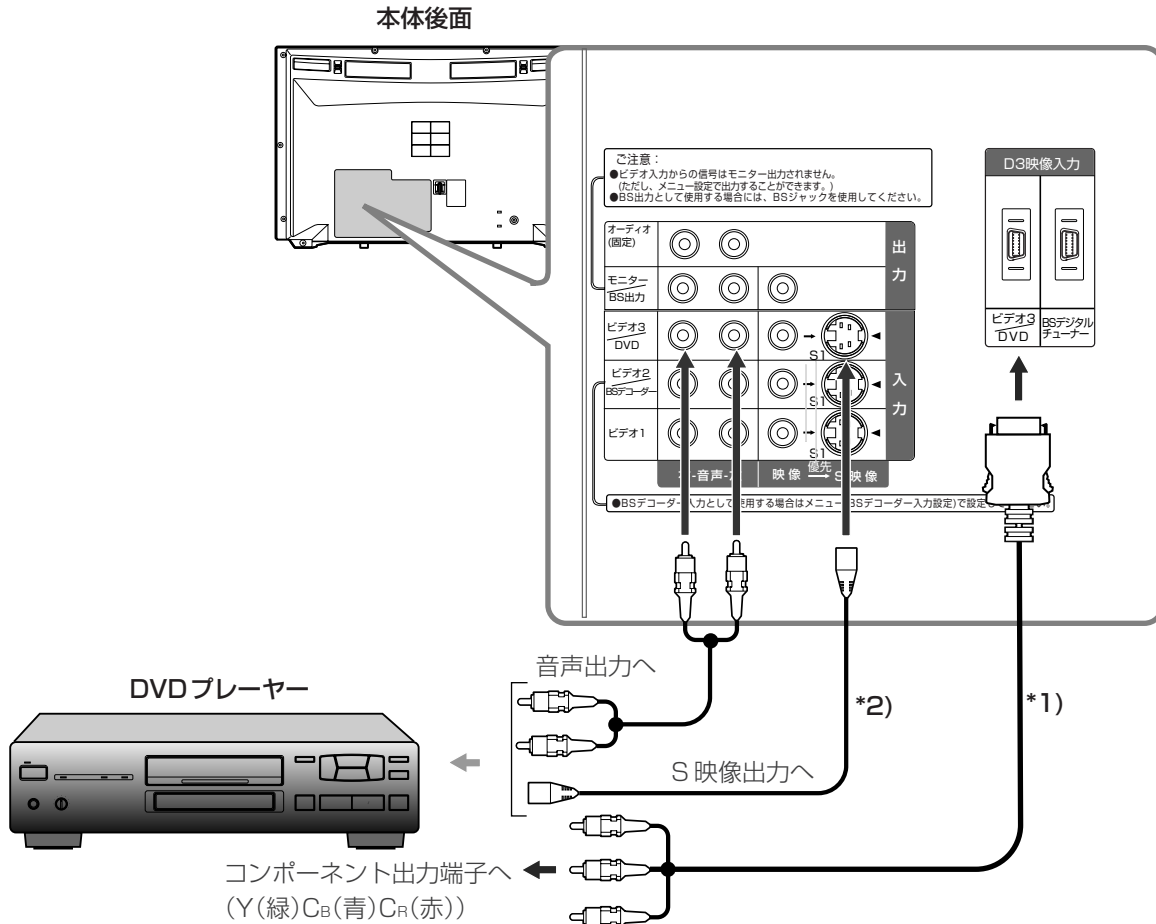
メモ (AV-32AD2のみ)

BSデジタルチューナーを接続しているときは、BSアナログ放送を選ばないでください。音声が聞こえなかったり、BSデジタルチューナーの音声が聞こえたりします。これはBSデジタルチューナーの音声入力が優先されるためです。故障ではありません。

DVD プレーヤー

を接続する

イラストはAV-32AD2
のものです。



- *1) DVDプレーヤーのコンポーネント出力端子がD映像端子のときは、両端がDコネクタのコードをご使用ください。
- *2) コンポーネント出力端子を接続しているときでも、S映像コードを接続しておくと、画面サイズを自動で切り換えることができるようになります。

接続後に次の設定をしてください

- DVDプレーヤーのマルチアスペクト (画面サイズ) をワイド画面用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは

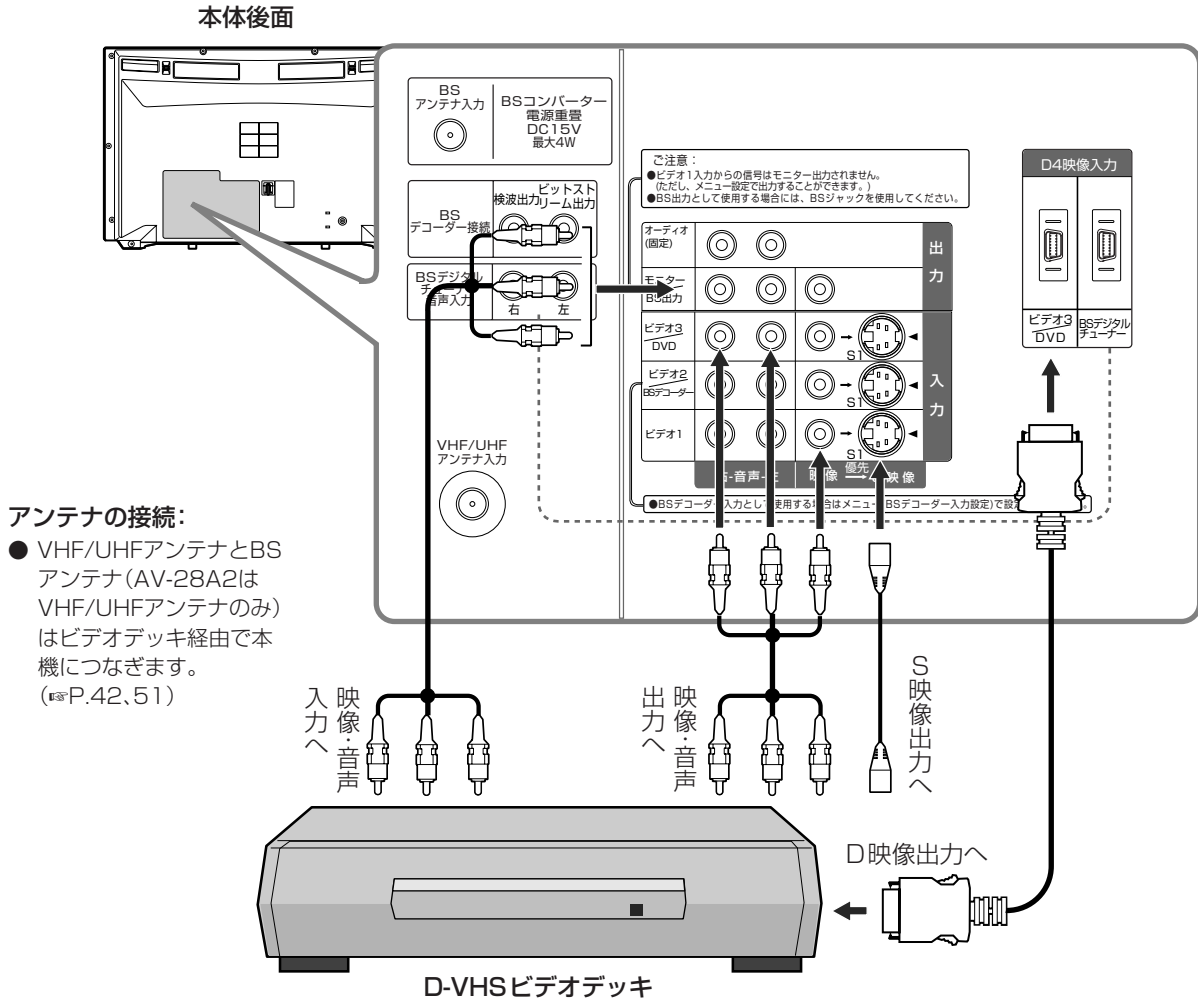
入力切替ボタンを押して、「ビデオ3」を選びます。

D-VHS

を接続する

D-VHSビデオデッキにD映像出力端子があるときは、D映像端子を接続してください。

イラストはAV-32AD2
のものです。



アンテナの接続：

- VHF/UHFアンテナとBSアンテナ(AV-28A2はVHF/UHFアンテナのみ)はビデオデッキ経由で本機につなぎます。(P.42、51)

接続後に次の設定をしてください

- メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(P.59)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ3」を選びます。

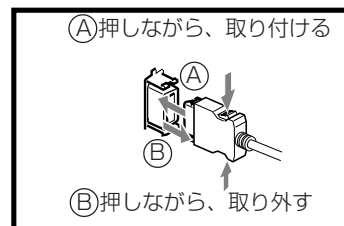
HM-DR10000(ビクター製D-VHSビデオデッキ)を接続するときの注意

D端子コードで接続するとD-VHSビデオデッキの画面表示が出なくなります。

ビデオ1入力などに映像コードを接続し、入力切換を映像コードを接続した入力番号に切り換えて操作を行ってください。

- 本機はD4映像入力から750p信号が入力されると、525p信号に変換して表示します。

D映像端子の取付、外しかた

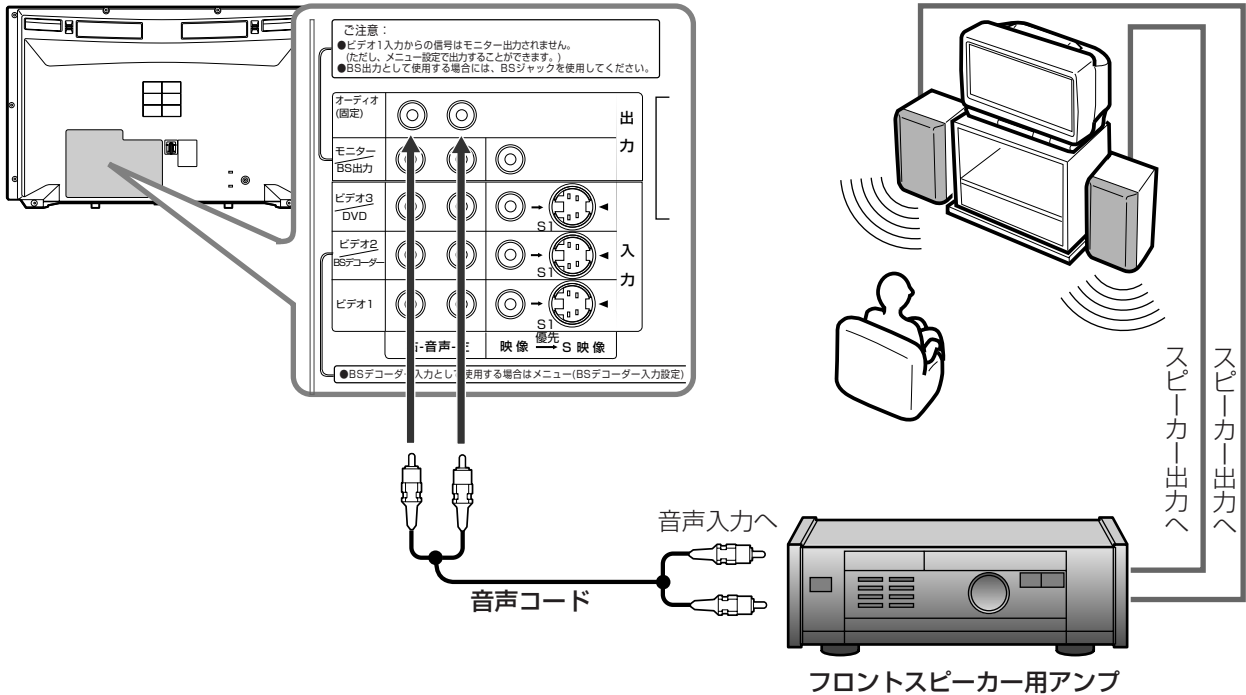


アンプ (オーディオシステム)

を接続する

イラストはAV-32AD2
のものです。

別売りのアンプとスピーカーでステレオ音声を楽しむことができます。



オーディオシステムでステレオ 音声を楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書
をご覧ください。

- 1 アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる
- 2 アンプ(オーディオシステム)のソースセクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
- 3 アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する

スピーカーについて

- スピーカーは防磁タイプのもをお使いください。
- スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20~30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れます。

つなぐ
AV機器を

故障かな?と思う前に

症状とその原因と対処方法 (Q&A)

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

●電源が入らない

- 電源プラグがはずれていませんか。

(P. 10)

- 本体の電源ランプは点灯していますか。点灯していない場合は、まず本体の電源ボタンを押し電源ランプを点灯させてください。電源ランプが赤く点灯していれば、リモコン側の電源ボタンで電源を入れられます。

●リモコンで操作できない

- 本体の電源ランプが赤く点灯していますか。点灯していなければ、本体の電源ボタンを押してください。(P.12、18)

- 電池が消耗していませんか。電池を交換してください。(P.17)

●正常に動作しない

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

●VHF/UHFが映らない

- アンテナは正しく接続されていますか。(P.42)

- チャンネル合わせは済んでいますか。(P.44~P.47)

●CATVが映らない

- 受信契約はお済みですか。

- ケーブルは正しく接続されていますか。

- チャンネル+/-ボタンで選べないときは、メニューの「+/-ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。

(P.49、50)

●アナログBSが映らない (AV-32AD2のみ)

- BSアンテナは正しく接続されていますか。(P.51)

- BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P.54)

- コンバーターに電源が供給されていますか。(P.53)

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

● アナログBSの有料放送が映らない(AV-32AD2のみ)

- BSデコーダーは正しく接続されていますか。(P.60、61)
- BSデコーダーの電源は入っていますか。
- メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「自動切換する」または「常に使用する」になっていますか。(P.60)

● 「BSデジタル」入力を選べない

- 本機後面のBSデジタルチューナー入力端子に何も接続されていないときは、「BSデジタル」は選べません。

● 色が出ない、おかしい

- 色あいや色の濃さの調節がズれていませんか。映像調節をやり直してください。(P.31)
- 受信周波数がズれていませんか。メニューの「初期設定」で「受信微調整」を試してみてください。(P.47)

● 音が出ない

- ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。
- 消音ボタンを押していませんか。(P.19)

● 音声が重なって聞こえる

- 二重放送の音声が「主+副音声」になっていませんか。(P.33)

● アナログBS放送の音声が切り換えられない(AV-32AD2のみ)

- メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。設定が「自動切換する」または「常に使用する」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。(P.60)
- BSジャックが「入り(BS固定)」のときは、音声は切り換えられません。(P.29、59)

● チャンネルを選ぶときの動作がおかしい

- CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.48)

● 接続したビデオ機器からの映像、音が出ない

- ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.58～P.65)
- 正しいビデオ入力を選んでいませんか。(P.19)
- ビデオ機器の電源は入っていますか。

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

●突然電源が切れた

- オフタイマーを設定していませんか。(P.19)
- 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.35)
- テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.35、P.37)

●画面表示が消えない

- ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいませんか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.19)

●アナログBS放送のチャンネルが選べない (AV-32AD2のみ)

- BSジャックランプが点灯していませんか。BSジャックが「入り(BS固定)」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。(P.29)

●2画面表示にならない

- 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映すことはできません。(P.25)
- 左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。(AV-28A2はBS放送は受信できません。)

●静止画にならない

- 番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。

こんなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じるがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているため、人体に影響はありません。
 - 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起る場合は、ピクチャーの設定を10程度下げることによって色付きを軽減できます。(▶P.31)
 - 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
 - 磁石やスピーカーやブースターなどを近づけたとき、画面が揺れたり色むらが出ることがあります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。
 - ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。
- ※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る

- アンテナは正しく接続されていますか。
- 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。
- アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。

画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)

- ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。

画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)

- 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ

原因

■ ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	●画面サイズがノーマル(4:3)のときに、「画面位置の調節」項を決定したとき。
■ CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	●CATVチャンネルの設定でCATV選局方式が12ボタンのとき。
■ ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	●ビデオ2入力モードのときに、「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を決定したとき。
■ BS放送にしてから、この設定を選んでください。 (AV-32AD2のみ)	●BS以外の入力モードのときに、メニューで「TV/独立」、「BSジャック」、「BSアンテナの入力レベル表示」、「BSアンテナへの電源供給設定」を操作/決定したとき。
■ BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。(AV-32AD2のみ)	●BSジャックが「入り(BS固定)」になっているときに、BSチャンネルや音声を切り換えたとき。 またはメニューで「ビデオ2へのBSデコーダー入力」や「BSアンテナへの電源供給設定」を操作しようとしたとき。
■ BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。 (AV-32AD2のみ)	●BSアンテナ電源がショートしているとき。
■ マルチ画面のとき、この操作はできません。	●2画面、番組一覧モードのときに、画面サイズを操作したとき。 2画面の右側に対して音声切換えが押されたとき。ナチュラルシネマを「入り」にしようとしたとき。
■ 2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。	●2画面モードのときに、左右画面に同じビデオ入力を選択しようとしたとき
■ 静止画中のため、この操作はできません。	●静止画のときに、操作画面を選択したとき
■ BS放送を2つ以上出すことはできません。 (AV-32AD2のみ)	●2画面で両画面にBS放送を出そうとしたとき
■ 無信号のためまもなく電源が切れます。	●無信号電源オートオフが働く3分前のとき、無信号でなくなるまでメッセージは消えない。
■ 無操作のためまもなく電源が切れます。 続けてみる場合は音量ボタンを押して下さい。	●何も操作しない状態が3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能により、オフする3分前のとき。何かのボタンが押されるまでメッセージは消えない。

メッセージ

原因

■ BSチャンネルを固定しました。(AV-32AD2のみ)	● 「BSジャック」を「入り(BS固定)」にしたとき。
■ 設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます。続けて見るばあいは音量ボタンを押して下さい。	● 深夜電源オートオフの設定時刻の3分前になったとき。
■ 時計が設定されていけませんので、使えません。メニューの初期設定で時計合わせをして下さい。	● 時計が設定されていないときにおはようタイマーを使おうとしていたとき。
■ Bモード音声中です。(AV-32AD2のみ)	● アナログBS放送のとき。メニューで「TV/独立」を操作したとき。
■ デコーダーで設定してください。(AV-32AD2のみ)	● WOWOWの音声切換をしたとき。
■ 現在のモードではこの操作はできません。	● ビデオ入力モードのときに音声切換をしようとしたときなど。 ● 525pを見ているときにナチュラルシネマボタンが押されたとき。 ● 1125iを見ているときにナチュラルシネマボタンが押されたとき。
■ ナチュラルシネマモードにしました。	● ナチュラルシネマボタンが押されたとき。
■ ナチュラルシネマモードが解除されました。	● ナチュラルシネマが解除されたとき。
■ 表示できないモードです。	● D端子から525i、525p、1125i、750p以外の信号が入っているとき。
■ 525p受信中のため、このモードは使用できません。	● 525pを見ているときにシネマナチュラルボタンが押されたとき。
■ どこでもズーム機能をデモしています。拡大したいところに枠を合わせます。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	● 「どこでもズーム」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ 2画面機能をデモしています。左右カーソルを押すと画面の大きさが変わります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	● 2画面機能の自己紹介(機能説明)中のとき
■ デジタルE.E.機能をデモしています。リモコン受光部に手を当てると効果がわかります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	● 「デジタルE.E.」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ 自己紹介(機能説明)を中止しました。	● 自己紹介(機能説明)を終了したとき
■ おはようタイマー設定時刻になりました。	● おはようタイマーの設定時刻になったとき(電源が入ったとき)。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉県美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-1067	
浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27	
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城野2-7-39 ツインハイツ石山B
川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1	
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中央区弁町1-3-1
	横浜S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横浜質市久里浜6-4-1
川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)	
平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5	
相模原S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4	
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡佐野町 丸之坪鞆田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2	
津S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18	
富山S.C.	(0764)25-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3	
石川S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17	
福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西堀野3-211	
近畿				
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
京都	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
近畿				
京都	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2	
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊勢ハイツ
【業務用機器専門】のご相談窓口				
業務機器S.C.	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28	
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
田辺S.S.	(0739)24-0124	646-0031	田辺市湊1581-12	
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
兵庫	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市巾着町11-1
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
広島	福山S.C.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
山口	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖兵2-37
高知	高知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州市S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大宮町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3	
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)			
		(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
鳥取	浜田営業所	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
	鳥取営業所	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1

0800

こまごまときは

索引

アルファベット／数字

BBE	32
BSアンテナ	51
BSアンテナの入力レベル表示	54
BSアンテナの接続	51
BSアンテナへの電源供給	53
BSジャック	29、59
BSチャンネルの設定変更	55
BS録画	29、59
CATVチャンネル設定変更	49
CATVチャンネル選局方式	
12ボタン方式	48
数字入力方式	48
CATV選局方式	48
D3映像端子	75
S/N連動	40

ア行

安全上のご注意	2
転倒防止の処置	7
アンテナの接続	42
映像選択	
ゲーム	30
シアター	30
シアター時の設定	38
スタンダード	30
ダイナミック	30
映像調節	
色あい	31
色の濃さ	31
黒レベル	31
シャープネス	31
白バランス	31
ノイズクリア	31
ピクチャー	31
映像の傾き調整	40
おトク設定	35
おはようタイマー	34
音声調節	
BBE	32
高音	32
左右バランス	32
低音	32

カ行

各部のなまえ	12
本体前面	12
本体後面	13
リモコン	15
画面サイズ選択	23
画面サイズの種類	22
字幕パノラマ	22
ノーマル	22
パノラマ	22
フル	22
シネマ	22
故障かな？と思う前に	66

サ行

索引	74
シアタープロの設定	
DSDエッジ	38
DC量補正	38
DSDコアリング	38
Hシャープネス	38
Vシャープネス	38
色バランス	38
白バランス 青	38
白バランス 赤	38
速度変調	38
仕様	裏表紙
接続	
BSアンテナ	51
BSデコーダー	60
DVDプレーヤー	63
VHF/UHFアンテナ	42
オーディオシステム	65
テレビゲーム	58
ビデオデッキ	59
ビデオムービー	58
節電機能	35
深夜電源オートオフ	35
デジタルE.E.センサー	35
テレビ消し忘れ防止	35
無信号電源オートオフ	35

タ行

地域チャンネル合わせ	44
地磁気補正	41
チャンネル合わせ	
地域チャンネル合わせ	44
チャンネル設定の変更	46

使いかた

オフタイマー機能	19
音量を調節	18
画面の表示	19
消音	19
チャンネルを選ぶ	18
電源を入れる	18
電源を切る	18
入力の切換	19
デジタルE.E.の効果表示	37
デモ	41
時計合わせ	57

ナ行

ナチュラルシネマ	29
入力切換	19

ハ行

光サインディスプレイ	11
ビデオ1入力端子信号の	
モニター出力	59
ビデオ2への	
BSデコーダー入力	60
付属品	10
ふだんの使いかた	18

便利な機能

音声切換	33
2画面	25
BSジャック	29
オートパノラマ動作時の画面	24
画面位置の調節	24
静止ボタン	27
独立音声	33
どこでもズーム	28
ナチュラルシネマ	29
番組一覧	26
保証書とアフターサービス	72

マ行

無信号電源オートオフ	35
メッセージ一覧	70、71
メニューボタンの使いかた	20
目次	8、9

ラ行

リモコン	15
電池の入れかた	17

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

用語解説

受信チャンネル

受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

シネスコサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこう呼びます。ビスタサイズより横長です。

スクランブル放送

映像・音声の信号を暗号化した放送。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われています。

デジタルE.E.

Ecology & Economy(目にやさしい省電力) + Electronic Eye(電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

独立音声

テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

ナチュラルピュア (Natural pure)

高画質を実現する「受信チューナー・映像を処理するデジタル回路・ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

ハイビジョン

画面サイズが16:9で、走査線数1125本の高精細映像方式。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこう呼びます。

プログレッシブ(525p)

従来の映像と同じ走査線数525本ですが、一度に525本の走査線を表示(従来はその半分)しているため、従来より高精細な映像方式。このテレビでは従来の映像をプログレッシブ方式に変換して映しています。

ワイドクリアビジョン放送

画面の横縦比16:9の放送。画面サイズが16:9のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが4:3のテレビで見ると画面の上下に黒帯が出ます。)

Aモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

Bモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

BSデコーダー

BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

D4映像端子

コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。

JSB

日本衛星放送株式会社

S映像信号

映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1映像信号

S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。

St.GIGA

衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名。WOWOWの独立音声を使って放送しています。

WOWOW

JSBが放送する番組の愛称。

525i/525p/1125i/750p/1125p

デジタル放送時代の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称です。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。


ただし、750pの信号は、525p方式に変換して表示しています。

主な仕様

種類	フラットワイドテレビ	D4映像入力 (BSデジタルチューナー、ビデオ3/DVD)端子 映像: D端子(D4)
受信方式	NTSC	モニター/BS出力端子(AV-32AD2) モニター出力端子(AV-28A2) S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
受信チャンネル	VHF 1~12、UHF 13~62 CATV C13~C38 BS1、3、5、7、9、11、13、15 (BS1~15はAV-32AD2のみ)	オーディオ出力(固定)端子 音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
使用電源	AC100V、50Hz/60Hz	BSデコーダー接続(AV-32AD2のみ) ビットストリーム出力端子: 0.5Vp-p、75Ω 検波出力端子: 0.67V(p-p)、75Ω
消費電力	AV-32AD2: 189W AV-28A2: 164W 待機時 0.1W BSジャック待機時10.8W (BSコンバーター最大4Wを除く (AV-32AD2のみ))	ヘッドホン端子 直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
年間消費電力量	AV-32AD2: 206kW・h/年 AV-28A2: 188kW・h/年	【その他】 最大外形寸法 (幅×高さ×奥行) AV-32AD2 83.2 cm x 54.3 cm x 54.2 cm AV-28A2 73.4 cm x 48.8 cm x 48.3 cm
画面寸法 (幅×高さ×対角)	AV-32AD2 65.9 cm x 37.1 cm x 75.6 cm AV-28A2 57.2 cm x 32.2 cm x 65.7 cm	質量(重さ) AV-32AD2: 57.2kg AV-28A2: 48.2kg
音声出力	10W+10W	付属品 10ページ参照
スピーカー	3 cm x 10 cm楕円型、2個 10 cm丸型、1個(低音用)	別売品 テレビスタンド RK-C32FD2(AV-32AD2用) RK-C28FD2(AV-28A2用) アンテナ混合器 VZ-84
アンテナ端子	VHF/UHF: 75Ω、F型 BS: 75Ω、F型(AV-32AD2のみ) (BSコンバーター用電源 DC15V 4W 重畳)	
【入力/出力端子】 ビデオ1、ビデオ2(BSデコーダー)、ビデオ3(DVD音声)、 ビデオ4(DV、ムービー)入力端子 S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 (S映像) C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声: 0.5V(rms)、ハイインピーダンス		

- ※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
- ※ テレビの型(32型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- ※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- ※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。
- ※ AV-32AD2/AV-28A2は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

ご相談や修理は	
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、 お買い上げの販売店にご相談ください。	
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。	
修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
72~73ページをご覧ください。	東京 電話 (03) 5684-9311 ファクシミリ (03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 電話 (06) 6765-4161 ファクシミリ (06) 6765-4891 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検	●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。	ちょっとした心づかいでテレビの安全
	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	→	●ご使用を止 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話 (045) 453-2057

© 2001 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

LCT0988-001B-H
0901-I-MW-JMT